

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	1	1	子ども	I am a child!ー働かされる子どもたちー	児童が半奴隷状態のもとで危険な作業に酷使されるという人権侵害がいまだに世界各地で行われている。今日、世界が取り組むべき最も重要な課題の一つであるにもかかわらず、その実態は厚い沈黙の壁に囲まれている。このビデオはその壁をうち破ろうとする試みである。	VHS	55
人権センター	2	2	子ども	STOP CHILD LABOUR	児童労働の原因や、有害で搾取的な仕事の内容、児童労働の実例と起こりうる被害等を明らかにし、国際的な対策、児童労働に関するILO条約などを紹介する。また、教育の役割や問題点、児童労働を防止するための教育制度の改善策にもふれる。	VHS	32
人権センター	3	3	人権全般	ヒューマンライツ・シンフォニー	基本的人権の世界的基準となっている「世界人権宣言」の重要性と、我が国の人権を保障するため様々な活動を行っている法務省の人権擁護機関の役割について、辰巳琢郎と一緒に考えていく。	VHS	40
人権センター	4	4	人権全般	世界中の全ての人々のためにー世界人権宣言のできるまでー	「人権」という考えがどのようにして生まれてきたのか。また、真に普遍的な宣言文を作成するため、国際社会が言葉、文化、そして冷戦の障壁をどのように乗り越えてきたのか教えてくれるドキュメンタリー。50年も埋もれていたインタビューや貴重な映像の数々が収録されている。	VHS	30
人権センター	5	5	人権研修	ワークショップは技より心	参加型学習は近年人権教育で積極的にとりいれられている学習方法の一つです。この学習の進め方を、プログラミング及び会場づくりからはじめ、「似顔絵他己紹介」「旗上げアンケート」「ロールプレイ・ディベート」の3つの手法について具体的な事例にそって展開する。	VHS	26
人権センター	6	6	人権全般	国際人権を知っていますかー国連と市民のとりくみー	国際連合の発足後、半世紀にわたる活動によって発展させてきた「国際人権」について学ぶ。	VHS	24
人権センター	7	7	女性	自立をめざしてーアジアの子どもと女性たちー	アジアの経済的社会的な自立を目指し、人間の尊厳を回復するために努力している女性たちと、女性によりそう子どもたちが力強く生きる姿を通してアジアの人権を考え、アジアと日本の関わり方を考える	VHS	30
人権センター	8	8	外国人	日本の国際化と人権ー違いを認めあう地域社会をー	在日外国人は、国籍、民族だけでなく歴史的背景や法的地位も異なるが、同じ地域社会の住民であることを認めて共生する心と態度が強く求められている。日本社会の国際化を進める主役である外国人に光を当て、日本社会の人権問題を考える。	VHS	25
人権センター	9	9	人権研修	参加型学習「人権」ーファシリテーターへの道しるべー	参加型学習は、近年人権教育で積極的にとりいれられている学習方法の一つである。この参加型学習をすすめるため、ファシリテーターの養成が求められている。このビデオでは参加型学習とファシリテーターの役割などを具体的な事例を通して紹介する。	VHS	30
人権センター	10	10	同和問題	私たちと人権(職場編)	職場の一人ひとりがお互いの立場を尊重し、人権意識を高めてゆけば明るい楽しい職場になること。そのためにはどうすればよいか、私たちの意識や考え方についていろいろな角度から問題を提起する。	VHS	29
人権センター	11	11	同和問題	私たちと人権(課題編)	私たちの社会には、同和地区の人々に対する差別をはじめ女性や障害者、外国人などに対する差別がある。これらの差別をなくすためには、自らの人権意識を問い直し行動していかなければならない。様々な角度から問題を提起している作品。	VHS	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	12	12	同和問題	くらしの中の人権感覚	差別の存在する社会では人権は守られず、幸せには生きられない。部落差別を解消するには、日々の暮らしの中で人権感覚を磨き、差別につながるものの方考え方をなくしていく必要があることを訴える。	VHS	21
人権センター	13	13	人権全般	あなたへのメッセージ 人権ってなあに<1>(入門編)	「人権」って言葉にすると堅苦しい。でも「これって変だな?」と疑問に思うことがきつとあるはず。そのきっかけは学校、友達、恋人、職場……。そんなきっかけを大人になっても忘れずに、でもそれに縛られることなく軽やかに生きている各界で活躍されている5人の方からのメッセージ。	VHS	41
人権センター	14	14	女性	ジェンダーフリー 人権ってなあに<2>(女性編)	この作品では、女性の人権問題の背後には「ジェンダー」が深く関わっていること。そうした立場で活動する人々を、2人の若者の目を通して紹介する。21世紀に向けて、特に若い世代の人が自由に自分らしく生きる生き方のヒントとなるような作品。	VHS	25
人権センター	15	15	同和問題	がんばれ!青春先生	竜馬は型破りな小学校教師。義雄と武の喧嘩の原因が差別落書だと知る。子どもたちの発案で芝居をつくらうとするが、一部の父母に反対され弱気になる。しかし、武の父や校長の理解に励まされクラス全員で取り組む中で様々な問題を克服し、児童と一緒に歩いて行く。	VHS	54
人権センター	16	16	同和問題	地域改善対策の歩み(事業編)	部落差別解消に向けての基本的な事柄について説明するとともに、地域改善対策についての一層の理解と認識を深めることをねらいとしている。	VHS	24
人権センター	17	17	同和問題	地域改善対策の歩み(啓発編)	部落差別を解消するための啓発活動を描いた作品で、兵庫県の戦後からの取組を解説した作品。心理的差別をなくすため、県と市・町で役割を分担し協力し進めている行政の取組と、今後のあり方を示している。	VHS	26
人権センター	18	18	高齢者	空高く夫婦とんぼ	長年連れ添った夫が脳卒中で倒れ、入院……。そして退院、リハビリ。みんなに助けられながら一生懸命介護するなかで、老夫婦は様々な発見をしていく夫婦のあり方、親と子、祖父母と孫とのかかわり、美しく老いることの意味を考える。	VHS	30
人権センター	19	19	高齢者	人生航路80年	シルバー人材センターの仲間が全国各地でユニークな活動を展開している。その姿を通して、人生80年時代をどう生きるか、進んで社会に参加し、自らの生き甲斐を掴んでいくことの大切さを示す。	VHS	30
人権センター	20	20	患者	職場とエイズ	職場にエイズ患者がいるらしい……。従業員の間に噂と恐怖がひろがる。彼らの反応や発言を取り上げながら、エイズに対する正しい知識と職場のあるべき姿を明快に描いていく。	VHS	16
人権センター	21	21	障害者	はばたけ明日への瞳	この作品は情緒障害児の勇二君という少年の心の優しさと、クラスの子どもたちの友情の美しさを描く笑いと涙、そして先生と子どもたちの心の通った作品。	VHS	51
人権センター	22	22	障害者	とべないホテル(アニメーション)	羽が縮んで生まれたためにとべないホテルと、彼を励まし、助けあう仲間のホテルたち。足が不自由で歩くことのできない妹のために、ホテル採りにやってきた姉と弟。子どもたちとホテルのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描く。	VHS	17

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	23	23	同和問題	わかりあえる季節	差別発言によって傷つけられた関係を懸命に修復しようとする高校生たちの姿を描く。「自分は差別していない」と思っている人たちの心の中にある差別性を気づかせる感動のドラマ。	VHS	52
人権センター	24	24	高齢者	故郷は心の中に	生活の中で、言葉を大切にしていますか。気づかぬうちに人を傷つけていませんか。同じ屋根の下に住む家族の中でも思い当たること。家を飛び出したおじいちゃんを追う少年。その行動を通して人間の心のやさしさとふれあいを描く。	VHS	50
人権センター	25	25	同和問題	橋のない川	舞台は明治・大正の奈良の農村にある被差別部落、小森。そこに生まれた主人公兄弟、誠太郎と孝二の成長を通し、真の人間の豊かさとは何かを問いながら、全国水平社結成に至るまでの人々の闘いを描く。	VHS	139
人権センター	26	26	同和問題	アニメーション 菜の花	昔々のお話。お上のおふれで差別を受けている村に、庄七という働き者の若者がいた。庄七の楽しみは酒を飲むこと。しかし、庄七たちは村の酒屋へ行っても敷居をまたぐことは許されなかった。この差別に対して庄七は業を煮やし、あることを決心した。	VHS	20
人権センター	27	27	女性	さわやかスーパーウーマン	夫が過労死をしたため、幸子はスーパーへ働きに出た。そうしたパートの女性たちが職場で経験する様々な差別に気づき、不合理に立ち向かっていく姿を生き生きと描き、人権問題や女性の生き方を考える。	VHS	54
人権センター	28	28	同和問題	豊かな心を育む家庭	部落差別を解消するには、一人一人が偏見や差別意識をなくし、心理的差別を解消することが大切である。本作品では、家族が互いに人格を認め合い、思いやりと優しい心を育み、明るい家庭を築いていくことが部落差別解消につながることを訴える。	VHS	24
人権センター	29	29	同和問題	言葉と差別	時には、言葉はつぶてと化して人の心を叩き、時には鋭い刃物となって命までも奪う。「何気なく」発言したというが、人はその心の底に潜む差別の目に気づかない。	VHS	18
人権センター	30	30	同和問題	言葉と差別(Ⅱ)	言葉は生き物である。「使ってはいけない」と押し込めたり、「別の用語を当てれば」と置き換えるだけでは、「言葉」と「差別」とのつながりを断ち切ることはできない。この言葉のもつ歴史や意味を問いだし、人権との接点を明らかにしていく。	VHS	23
人権センター	31	31	同和問題	言葉と差別(Ⅲ)	言葉の言い換え問題を中心に、次の4つの視点、①差別語が使われてきた背景、②言い換えることの意味、③差別意識が差別語を生むこと、④差別語を使わない自分になることについて考えを深める。	VHS	23
人権センター	32	32	その他	一分のすきもなく武装して 世界にはびこる小型武器の現状	このドキュメンタリーは、小型武器の不正な取引が広まり、容易に入手できる現状に焦点を当てたもの。何よりも憂慮されるのは、子どもたちがこのような武器を手に入れることができる現状である。	VHS	28
人権センター	33	33	女性	21世紀はみんなが主役 男女共同参画社会基本法のあらまし	男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の在り方を決定する大きな鍵となる。なぜ男女共同参画社会の実現が必要なのか、データに基づいて日本社会の現状を分析し、男女共同参画社会基本法の概要を解説する。	VHS	23

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	34	34	同和問題	メール	身に覚えのないことや同和地区の差別につながる中傷をインターネットの掲示板に書き込まれた女子高校生の精神的苦痛と、同級生や両親、周囲の大人たちの支えで立ち直っていく主人公の姿を描く。	VHS	54
人権センター	35	35	外国人	トモダチ	主人公の女子大生と中国人留学生、日本の少年とベトナム人少年との交流の中から、文化の多様性を知り、それを尊敬すること、そして一人の人間として様々な違いを乗り越え触れ合うことの大切さを訴える。	VHS	31
人権センター	36	36	女性	翔太のあした	3部のオムニバス形式。学校、職場、家庭とそれぞれの場面で男女の意識の差を描き出す。相原一家と一緒に、男女共同参画社会の実現がどんな意義をもつのか考え、実現へ向けた行動力を育てていく。	VHS	54
人権センター	37	37	その他	戦争の傷あと	戦争が終わっても、深く大きな傷痕が残る。残された爆弾、地雷による身の危険、社会崩壊、そして人々の心の中に残された傷。このビデオは、戦争の傷痕から立ち直ろうとする市民たちのドキュメントである。	VHS	31
人権センター	38	38	女性	根絶！夫からの暴力	配偶者といえど暴力は犯罪である。内閣府の調査では、20人に1人の女性が夫からの暴力で命の危険を感じたことがあるという。DV法の制定を受け、このビデオでは配偶者暴力支援センターや保護命令制度を具体的な例で説明している。	VHS	27
人権センター	39	39	外国人	夢の箱	結婚を機に日本で生活することになったタイ出身の女性を中心に、彼女と彼女の家族が出会う様々な場面を通して、一人一人が、互いの文化や生活習慣の違いを認め合い、理解していくことの大切さを描いている。	VHS	50
人権センター	40	40	子ども	虐待から子どもたちを守るために 第一部ドラマ「扉をあけて」 第二部ドキュメンタリー「それぞれにできること」	第一部では、児童虐待救済の状況をドラマで紹介しながら、問題を潜在化、深刻化させないためには当事者やその関係者だけでなく、地域での連携が不可欠であることを描いている。第二部では、児童虐待に関する情報や救済に対する取組を関係者のインタビューを交えながら紹介している。	VHS	53
人権センター	41	41	外国人	人権ってなあに<3>(在日外国人編) わいわいごちゃごちゃ	神戸市長田区と神奈川県川崎市を舞台に在日韓国・朝鮮人の民族差別と闘い、国籍による制限を撤廃する取組と、共に活動する日本人の姿を紹介する。「在日」の歴史も織りまぜ、「わいわいごちゃごちゃ」街に暮らす様々な民族の人たちが共に生きていくことの大切さを探る。	VHS	34
人権センター	42	42	同和問題	人権ってなあに<4>(部落編) 被差別民が担った文化と芸能	能の最古の形態を今に伝える奈良坂の奈良豆比古神社の翁舞。観阿弥、世阿弥によって日本を代表する舞台芸能へと発展した能。また、中世以来、口伝で語り伝えられ、江戸時代に歌舞伎や浄瑠璃の題材となった説教節。大阪、奈良、浅草に被差別民衆が担ってきた芸能の歴史をたどる。	VHS	43
人権センター	43	43	外国人	人権ってなあに<5>(移住外国人編) いっしょに歩こう	低賃金・社会保障なしの劣悪な労働条件、企業や地域社会での根深い偏見や差別。様々な人権侵害の中で外国人たちは自ら声を上げ、手を結び、日本社会の中で生きようとしている。そんな外国人をサポートする日本人。日本社会の国際化のあり方が今問われている。	VHS	45
人権センター	44	44	子ども	人権ってなあに<6>(子ども編) いきいき生きる	「子どもの権利条例」を子どもたちが参加してつくった川崎市。「自分達のやりたいことを自分達で・・・」中高生の居場所”ゆう杉並”の運営に携わる中高生委員。子どもの視点から身近な問題を考え情報誌を発行する大阪EFCの子どもたち。ビデオはそんな子どもたちが生き生きと活動している姿を追う。	VHS	35

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	45	45	子ども	忍たま乱太郎のがんばるしかないさ ーよいと思うことをおこなうー(小1～4)	野外学習で公園に出かけた忍たま3人組が、困っている人を助けたり、行列でのマナー、ゴミ捨てなどのルールなどを体験しながら学んでいく。善いことをするには勇気がいることを伝える。	VHS	10
人権センター	46	46	子ども	忍たま乱太郎のがんばるしかないさ ーあたたかい心でしんせつにするー(小1～4)	漁船から魚を受け取ってくるというお使いに出発した乱たま3人組。道中、老女や少年と出会い、温かい心遣いや親切な行いを学ぶ。気持ちよい受け答えが相手の真心に届くことを伝える。	VHS	10
人権センター	47	47	子ども	忍たま乱太郎のがんばるしかないさ ーきまりを守って協力しあうー(小1～4)	約束事を忘れて自分勝手に行動してしまう忍たま3人組。食事当番となった日、とんだ失敗をしてしまうが、仲間たちの温かい協力でおいしいカレーが完成。周りへの配慮の大切さを伝える。	VHS	10
人権センター	48	48	子ども	おじゃる丸 ちっちゃいものの大きな力(小1～4)	テレビアニメで大人気のおじゃる丸が登場。おなじみ「シャク」を狙うアカネたちだが、作戦に失敗し、丸太の下敷きになり動けなくなった。そこへおじゃる丸に助けられたアリが仲間を連れてやってきて・・・。	VHS	10
人権センター	49	49	女性	セクハラ代償	99年4月から施行されている改正男女雇用機会均等法に準拠。セクハラは絶対に許されないことをドラマ形式の中で警告する。セクハラをおこなった側は法で裁かれ、すべてを失うが、被害者の傷はそれでも癒えなかった。解説を交えながら、旧来の組織風土の改革を迫る。	VHS	24
人権センター	50	50	障害者	障害者の心	健全者との接し方や社会生活の中で感じるさまざまな問題点について、障害をもつ人が自らの視点で語っている。障害をもつ人の思いを理解し、障害者との接し方や手助けのあり方を学ぶ。	VHS	20
人権センター	51	51	子ども	幼い命の悲鳴を救うために	あいつぐ児童虐待が大きな社会問題になっている。多くの虐待は日常生活の内側で起こり、外部から適確に対処することは難しいのが特徴。児童虐待に気づいたらあなたならどうするか。キャプナ(児童虐待防止センター)を通じた取組の例をみる。	VHS	26
人権センター	52	52	人権全般	あすに生きる	厳しい競争の中で忘れられがちな企業内の人権問題、(障害者、女性、リストラ等)を改めて考えてもらうことによって、企業の中での社員同士の人権や、企業が社員を大切にすることの重要性を訴えている。	VHS	35
人権センター	53	53	子ども	こむぎいろの天使	故郷の自然が教えてくれた真実の友情と知恵の勇気。野山をかけまわる天使からのメッセージ。信州伊那谷の雄大な自然を舞台に、すがれ(地バチ)を追いながら野山をかけめぐる子どもたち。上伊那全市町村の全面協力で撮影されたふるさとシネマである。	VHS	95
人権センター	54	54	高齢者	へんてこなボランティア	読み書きができなかったために辛い思いをしてきた老婆の生活に生きがいが生まれた。3人の中学生から文字を教わったおかげで、念願の孫との手紙のやりとりも出来るようになったからだ。彼ら3人は、このふれあいの過程でボランティアの本質を学んでいく。	VHS	46
人権センター	55	55	障害者	目の不自由な人に出会ったら	目の不自由な人に出会ったら・・・。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの疑似体験をとおして、バリアフリー社会を目指し、バリアを取り除いていこうという意識を高める。	VHS	11

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	56	56	障害者	耳の不自由な人に出会ったら	耳の不自由な人に出会ったら……。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの疑似体験をとおして、バリアフリー社会を目指し、バリアを取り除いていこうという意識を高める。	VHS	11
人権センター	57	57	障害者	車いすの人に出会ったら	車いすの人に出会ったら……。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの疑似体験をとおして、バリアフリー社会を目指し、バリアを取り除いていこうという意識を高める。	VHS	11
人権センター	58	58	子ども	内藤剛志の中学生トークライブ 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品より	このビデオでは、2001年12月に発表された第21回全国中学校人権作文コンテスト中央大会の入賞作品の中から数作品を選び、その作品を紹介するとともに、集まった中学生によるトークが展開されている。家庭や学校、の人権についての理解を深めるための教材として活用できる。	VHS	30
人権センター	59	59	人権全般	あなたへのメッセージ 人権ってなあに<7>(メッセージ編パート2)	各界で活躍されている次の5人の方からあなたへのメッセージ。 東ちづる(女優)・川田隆平(障害エイズ被害者)・星野昌子(国際ボランティア)・中坊公平(弁護士)・白井貴子(ミュージシャン)	VHS	44
人権センター	60	60	患者	人権ってなあに<8>(AIDS編) 風よ雲よ伝えてよ	HIV感染者は世界で4000万人、AIDSによる死者は毎年300万人に達している。AIDSの正しい知識の普及や啓発を通して根深い差別と闘い、感染者とともに歩む人権情報センターの若者たちの活動を紹介する。	VHS	38
人権センター	61	61	人権全般	私自身を見てください	私たちの暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ・偏見をドラマと解説部の2部構成で問題提起しています。人権研修・ワークショップでの活用に適した新しいタイプのビデオ教材。	VHS	27
人権センター	62	62	女性	心ひらくとき	入社7年目の新聞記者あすか。同僚の松島と2年前に結婚し、仕事では旧姓を使っている。新しく連載する「人権考」を準備中に自分の妊娠を知る。男女差別や結婚差別の取材をする中で世間やあすか自身の生き方について考える。	VHS	55
人権センター	63	63	障害者	風のひびき	奈緒は聴力に障害があるが一人で暮らし、手話が出るホームヘルパーとして働いている。恋人の両親が二人の結婚を認めてくれるかどうか。働きながら様々な現実を体感し、悩みながらも心のバリアフリーを信じて前向きに生きる主人公の姿を描く。	VHS	54
人権センター	64	64	同和問題	誇り高き男	新卒でエリート意識の強い主人公が配属されたのは、期待とは裏腹に地方の小さな営業所。この町で主人公を中心に繰り広げられる人間ドラマは、傍目にはおもしろおかしく映るが、偏見や差別がいかに恥ずかしい行為であるか、笑いの後にズシリと残る。	VHS	56
人権センター	65	65	外国人	この街で暮らしたい ー外国人の人権を考えるー	今後ますます国際化が進む中で、日本人と外国人がお互いに違いを認め合って、共に生きていくことができる社会を築いていくことが求められている。この作品では、入居拒否の例をもとに外国人の人権について考えていく。	VHS	32
人権センター	66	66	高齢者	明日はわが身 ー老人介護と助け合いー	健康な老後を送りたい。だが、現実はどうであろうか。高齢化社会に向かいつつある今日、介護を受ける老人、それを支える家族。明日はわが身であることを考えれば、お年寄りを大切にすることは当然である。	VHS	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	67	67	障害者	泣いて笑って涙して ポコアポコ	人々の温かい思いやりに感謝して……。今日も車いすが街を行く……。車いすの女性があき缶を集め、お年寄りに車いす100台を贈った。心あたたまる実話の映画化。	VHS	53
人権センター	68	68	障害者	あき缶が車いすに	数人の生徒からはじまったあき缶集め。そして全校生徒と地域の人々の善意が車いすに。中学生がボランティア活動から学んだ奉仕と勤労の精神をドキュメンタリーで描く、あたたかい感動のドラマ。	VHS	22
人権センター	69	69	同和問題	女性と子どもと母親	キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、日々の生活の中に誤った知識や偏見のあることに気づき、同和問題をはじめ女性差別、在日外国人差別などの人権問題を学び、差別解消のため行動していく人権学習の教材。	VHS	30
人権センター	70	70	女性	旅立ちの夏	父母の離婚が自分の就職に不利になるのではと悩む健一とその母は、担任の諸岡先生に相談する。諸岡は健一親子に、健一の希望する会社に入社したばかりの美華を紹介する。就職差別をテーマに、差別解消と人権尊重を訴える。	VHS	49
人権センター	71	71	女性	一男女雇用機会均等法— 職場の男女差別をなくそう	職場において、女性であるがゆえに受ける差別の具体的な問題点を示し、男女雇用機会均等法の改正に際して、積極的な男女平等促進案として提案された”ポジティブ・アクション”等の理念を分かりやすく解説する。	VHS	28
人権センター	72	72	子ども	親がかわれば子もかわる	父親は、息子が小学1年生の頃に書いた作文の一節を思い出していた。「欲しいものは何でも買ってくれる満点パパ……」。子どもが発するシグナルをどう読みとり対応したらよいか。こうした難しい問題に対する解決の糸口を示唆する。	VHS	26
人権センター	73	74	高齢者	雲が晴れた日	祖母の介護問題がきっかけで、様々な偏見や差別に気づき克服していく一家の姿を通して、「共生」、「人権」といった普段敬遠しがちな問題を、身近なものにしていく過程を感動的にえがいた作品。	VHS	53
人権センター	74	75	障害者	児童劇映画 身障犬ギブのおくりもの	生まれながら前足が不自由なラブラドル・レトリバー犬のギブと、その飼い主一家の愛と勇気の物語を実話をもとにしてえがいた感動の作品。思いやりの大切さ、命の尊さを訴えます。	VHS	39
人権センター	75	76	同和問題	アニメーション いのち輝く灯	奈津子は25歳のツアーコンダクター。恋人雅人の母親が同和地区出身ということで……。目の不自由な老人昭吉との交流。自ら交通事故で下半身不随の重傷を負い自暴自棄になる。雅人の献身に、奈津子の心に「いのちの灯」はともるのであろうか。	VHS	48
人権センター	76	77	同和問題	贈られた湯飲み茶碗	陶芸家を志す青年が阪神大震災で被災した老女に贈った一つの湯飲み茶碗。そこから生まれたドラマの中で、青年が自らの差別意識に気づき、それを改め、真の人間関係を築いていく過程を、美しい丹波の風景の中で描く。	VHS	48
人権センター	77	78	同和問題	ビッグタウン・ふたりの朝	君子は実習をしながら看護学校で勉強中の明るい娘。同和地区出身者だということは同室の加代子にも話してないのに、差別の影が忍び寄り……。大都会の病院を舞台に、みえない差別に立ち向かう君子。彼女が自立していく姿を爽やかに描いた青春ドラマ。	VHS	55

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	78	79	患者	アニメーション 金色のクジラ 1994年教育映画最優秀作品賞	「まっているよ、ゆういち！ 今、助けてやるからな」 兄は自分の骨髄液を提供して、白血病の弟の命を救うために手術室に入っていきます…。骨髄移植をテーマにした岸川悦子原作のアニメ。兄弟愛と勇気、家族愛と友情で満ちあふれた感動の物語。	VHS	25
人権センター	79	80	女性	ジェンダーフリーな組織をめざして 職場のセクシャルハラスメント ①セクシャルハラスメントとは何か	内容・ケース:女性の部下を頻繁に食事に誘う男性管理職 ・どのような行為がセクハラとなるか ・セクハラをめぐる法律・規則 ・セクハラをなくすために	VHS	20
人権センター	80	81	女性	ジェンダーフリーな組織をめざして 職場のセクシャルハラスメント ②セクシャルハラスメントを生まない組織に	内容・ケース:新社会人の悩み ・セクハラの基本は相手への配慮で ・管理職・依頼主からのセクハラ ・セクハラを生まない断り方、断られ方 ・ジェンダーフリーな組織をめざして	VHS	20
人権センター	81	82	高齢者	ぬくもりの彩	突然、傷害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれの同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく心の変化を描いた作品。	VHS	36
人権センター	82	83	同和問題	サインはストレート	高校野球をテーマに、高校生たちが部落差別の解決を目指して立ち向かっていく姿を、明るく爽快なタッチで描き、同和問題への積極的な態度と実践力を育て、人権尊重の精神を基盤とした差別のない明るい地域社会づくりを目指す。	VHS	45
人権センター	83	85	同和問題	心のどこかに	人間はこの世に同じように生を受けながら、生まれた所や、住んでいるところによって差別を受ける。そんな不合理なことがあっていいのかと問いかける。	VHS	30
人権センター	84	86	虐待	いのち輝くとき	最近、深刻な社会問題となっているのが、親による子供への虐待である。特に、地域社会から孤立している核家族の親が、現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えている。	VHS	30
人権センター	85	87	高齢者	おじいちゃん元気になってね	近所で顔見知りの頑固じいさんと、公園をいつもきれいに掃除しているおばあさんが、入院してしまった。子どもたちはお年寄りを励ますためブラスバンドでお見舞いに行くことにした。お年寄りたちは熱い涙を流して喜んでくれた。そして、翌日から、クラスの子どもたちみんなで公園を掃除するようになった。	VHS	47
人権センター	86	88	高齢者	がんばれ！ まあちゃん	生まれたときから耳が聞こえなくて話も出来ない5歳のまあちゃんが、いじめやいろいろな障害にぶつかりながら温かな家族に見守られて成長していく姿を姉、かよの目を通して描いている。	VHS	48
人権センター	87	89	障害者	ぼくに涙はにあわない	これは実際にあったことをもとにして作られた物語である。高校時代、ラグビーの試合中、不幸にも首の骨を折り、手足の自由を奪われながら、悲しみのどん底から新しい可能性に向かって、一つ一つ挑戦、前進していく一人の高校生の力強い感動の物語である。	VHS	50
人権センター	88	90	障害者	ありがとうハーナ	車いすでハーナが走った。目の病気で暗く沈む少女励ます弟とハーナが少女の身代わりで車にひかれて重傷を負ってしまう。家族の温かい愛情を受け、障害を乗り越えて立ち上がるハーナの生命力に心を打たれた少女は、笑顔を取り戻していく。	VHS	47

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	89	91	子ども	びょういんの木	公害が原因で喘息になった岡村理君が、小学生のとき、大阪赤十字病院に入退院を繰り返しながら、自らの体験をもとに描いた絵本の映画化である。入院している人たちが医師や看護婦たちの心温まるエピソードが、病院にある大きな木と対話する形で詩的に描かれている。	VHS	54
人権センター	90	92	同和問題	風かよう道	この作品は、古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、古いなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開している。	VHS	35
人権センター	91	93	障害者	ラストからはじまる	少年の旅立ちは ムラの人々の出会いから始まった	VHS	53
人権センター	92	94	男女共同参画	楽しい動物園へ	市民はボランティアやNPOなどを通じ社会との積極的なつながりを求め、行政も市民との協働を必要とする時代。市民グループ「女の目で大阪の街を創る会」の8年間の活動を通して、行政とのパートナーシップ、政策決定への参加、男女共同参画の実践を描いた作品である。	VHS	30
人権センター	93	95	人権全般	夢の約束	飛び出そうとしているのに立ちすくむ若者たち。そんな彼らにも出会いがあり、愛が芽生える。自分らしく誇りを持って生きるには・・・今 音楽も心も、一つに合わせて果たす夢の約束。	VHS	53
人権センター	94	96	同和問題	えせ同和行為排除のために	ある日、会社から突然送られてきた同和問題に関する書籍。購入を強要され、思い悩む主任の神山。しかし、法務局で人権擁護委員に相談した神山は決然とした態度で臨む。	VHS	30
人権センター	95	97	人権全般	100ばんめのさる	宝石のように光り輝く私たちの住む美しい地球。しかし、今、地球には核兵器がたくさんある。この恐ろしい核兵器が戦争で使われたら一瞬にして死の世界に変わる。私たち一人ひとりの小さな力でも地球を救うことができるということを、「100ばんめのサル」は教えてくれる。	VHS	17
人権センター	96	98	人権全般	火の海・大阪	昭和20年、無差別空襲によって大阪の人々の尊い命が奪われた。空襲体験者の手記に基づくこの作品は、空襲で右腕を失った主人公の少女が、戦後、障害を克服して、力強く成長していく姿を描いている。	VHS	20
人権センター	97	99	人権全般	鬼の子とゆきうさぎ	鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れていた「やさしさ」や「おもいやり」が伝わる。	VHS	22
人権センター	98	100	人権全般	山に輝くガイド犬平治号	ある日、くじゅう連山の登山口の長者原に抜け毛の子犬が現れ、人々になついた。地元の人たちは温泉で抜け毛を治してやり、「平治」と名付けた。平治は立派に成長し、くじゅうのガイド犬となって登山者の命を守り、多くの人々に親しまれながら14年の生涯を終えた。	VHS	28
人権センター	99	101	同和問題	プレゼント	小学校4年生の優香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。	VHS	17

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	100	102	高齢者	おばあちゃんありがとう	差別で文字を奪われながらも、一生懸命生きてきたおばあちゃん。そんなおばあちゃんの生き方から人間として共に生きる喜びと輝きを取り戻した家族や周囲の人々がそれぞれ新たな生活へと旅立っていく。	VHS	52
人権センター	101	103	高齢者	たぬきのいる町	山あいの美しい田舎町で、焼き物一筋に生きる頑固じいさんと、ものをつくる喜びを知る子どもたち。都会から遊びにきたトモコ、わんぱく少年五郎と勉が、おじいさんと家族の心のすれちがいを救う。	VHS	52
人権センター	102	104	障害者	一人ひとりの心は今！	エセ同和行為に怯えることなく、一貫として毅然とした態度で拒否し、また、障害者問題を社内で取り組んでいくわかず社員たちの姿を描く。	VHS	34
人権センター	103	105	同和問題	おはようの音が響く街に！	差別を受けながらも、希望を見だし、それを乗り越えて力強く生きる三世代の家族。一方、差別をしてはいけないことを知りながら、世間体にかたがわの両親の心をただしていく高校生。	VHS	35
人権センター	104	106	同和問題	セピア色の風景	妹の幸せを願っていた兄。それは日高川でつながっていた運命の糸だった。差別の厳しさを父から学んだ淳(中学生)は、明日に向かって「21世紀は僕らの時代だ・・・」と力強く叫ぶ。	VHS	55
人権センター	105	107	外国人	愛は海より深く	サンコンは語る「僕の肌黒いでしょう、肌の色隠せないの」 「僕 思うの、心の問題か差別をなくしていくの」 「だって、同じ地球に住む人間だもの」	VHS	55
人権センター	106	109	人権全般	ハチ公物語	JR渋谷駅、待ち合わせ場所として賑わうハチ公の銅像前。半世紀以上も前のハチ公の物語は、日本人にとって「永遠の愛の物語」である。現代の子どもたちにも、ハチ公と人間があたたかくふれあう感動のドラマを語り継ぎたいものである。	VHS	18
人権センター	107	110	人権全般	鉢かつぎ姫	語り継がれる日本民話の感動の物語。いじめと差別の中、苦境にもめげず、力強く生きた鉢かつぎ姫の物語は、今の時代における親子の関係と人権問題について語り合える作品	VHS	34
人権センター	108	111	人権全般	こぎつねのおくりもの	お地蔵さんに化けたら「おだんご」をもらえることを覚えた三匹の子ぎつねが、お供えをしているおばあさんの大切な写真を破ってしまったことから始まる、人間と子ぎつねたちのふれあいを描いたアニメである。	VHS	30
人権センター	109	112	子ども	セツちゃん	高木家は父・雄介、母・和美、娘・加奈子の3人家族。ある日、加奈子が、いじめにあっている「セツちゃん」という転校生について話し出した。…	VHS	34
人権センター	110	113	子ども	くもりのち晴れ	いじめによって言葉を奪われていた幸子が、文化祭の主役に選ばれた。先生や加奈子たちの励ましを受け、幸子は自分を表現する勇気を持ち始める。劇ができあがるにつれ、ゆがんだ形でしか自分を表現できずにいたいじめグループも、次第に心を開き始める。	VHS	40

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	111	114	人権全般	うちへおいでよ	介護で気が休まらない妻。息子がいじめられたとわめき立てる母親。仕事が忙しい夫。親の価値観に反発する娘。そして…。自分の立場で手一杯になり、互いに傷つけ合ってしまう。互いに理解しようと心を合わせたとき、互いに尊重し合えることに気づいていく。	VHS	55
人権センター	112	115	子ども	純がくれた命	たび重なるいじめに耐えかねた健一(中1)は自殺を図るが、かろうじて命を取りとめる。入院先で同室になった純(中2)は、難病に冒されていたが、夢に向かって生きていた。ひたむきに生きた純の姿は死にたいと考えている健一に深い感銘を残す。	VHS	20
人権センター	113	116	人権全般	こころの架け橋	森を守り、森と共に生きる老練な作業員・朝彦と、そこで働く都会育ちの青年の交流。その周囲の人々の心模様を描きながら親子問題を基調に人と人との心を通わせ合うすばらしさを訴える。	VHS	50
人権センター	114	117	同和問題	君に心のパス FROM MY HEART	尊敬する先輩がラグビー部の監督をしている高校に教育実習に行くことになった国友は、早速、部活動参加の許可をとったのだが、チームプレイが不可欠であるにもかかわらず、一人の部員が監督に反抗的な態度をとり続けているのに気づく。	VHS	55
人権センター	115	118	子ども	元気をありがとう	剣道大会に出場する小学5年生の江口誠と八木稔は同じクラスでライバル同士。大会が近づいたある日、市のコンクールに出品される誠の粘土細工が壊される。故意ではないが、壊したのは稔だったことから…。	VHS	118
人権センター	116	119	人権全般	おじいちゃんの花火	交通事故で両親を失い、自らも障害を持つようになった中学生・百合子は、未だあったことのない祖父に会うため旅に出る。隅田川の花火を背景に人と人とのつながりの大切さを描く。	VHS	25
人権センター	117	120	人権全般	二匹の猫と元気な家族	神戸の震災で、ともに生きることの大切さを知った春野家の人々と二匹の猫。引っ越して来た東京で、新しい生活や身近に起こるいじめや差別にとまどいながらも、それを乗り越えていくためには、まずお互いをよく知り、認め合うことだと認識する。	VHS	25
人権センター	118	121	人権全般	マイ・プロジェクト	企業の中での様々な人権問題を、一人一人がどうすべきかを考えることと、人権尊重の大切さをオムニバス形式のドラマを通して描く。	VHS	60
人権センター	119	122	人権全般	陽だまりの家	「共生」とは何か。母子家庭の奈々恵と娘の千鶴、一人暮らしの老女、秀子。彼らのふれあいを通して真の共生の姿を見ていく。個性の違いを認め合い、互いに尊重しながら寄り添うとき、人と人の間に陽だまりのような温かさが生まれる。	VHS	42
人権センター	120	123	人権全般	おじいちゃんのとまと	わずかな畑でトマト作りに精を出していた祖父が突然倒れたことから、貴志の家庭に波風が立ち始める。しかし、体の不自由な祖父の生きることへの情熱や考え方に触れるうち、貴志は生命の尊さや人を思いやる優しさに気づいていく。	VHS	31
人権センター	121	124	人権全般	山本家の場合	日頃気づかないままに人を傷つけていることを、男女平等・仏滅・鬼門・縁談と釣書・親子の友情など、人権ショートストーリーで振り返り、話し合う材料とする。	VHS	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	122	125	人権全般	私たちの人権宣言 転校生はおばあちゃん！？	中学2年生のクラスに74歳のウメおばあさんが転校してくる。ある日、みちるたちは、ウメさんの戦争時代のつらい体験と「勉強がしたい」という夢がかなえられずに亡くなった幼なじみの話を聞く。	VHS	50
人権センター	123	126	女性	元気にチャレンジ	求職活動を始めるが、不採用になった主婦は、「再就職支援セミナー」に参加し、社会へ再チャレンジを目指す仲間が大勢いることを知り、勇気づけられる。	VHS	25
人権センター	124	127	女性	根絶！夫からの暴力	配偶者といえど暴力は犯罪である。このビデオは「配偶者暴力防止法」が改正されたことを受けて、No.38ビデオの改定版である。	VHS	30
人権センター	125	128	患者	未来への道 ぼくのおじさんはハンセン病	正太は、いとこの香奈と、国立療養所多摩全生園に住む平沢さんにお使いを頼まれる。初めて訪れる全生園がどのようなところかわからない正太は、平沢さんの容姿に驚き、戸惑いを覚える。そんな正太に平沢さんは語りかけます。	VHS	30
人権センター	126	129	人権啓発	めばえの朝	新しい生命の誕生を控えた家族と、その周りの人々のふれあいや葛藤を通して、「相手を理解すること」、「尊重し合うこと」、そして「自分の問題として行動すること」の大切さやすばらしさを描いた作品である。	VHS	30
人権センター	127	130	子ども	かあちゃんの海	潮風の吹く日本海の小さな漁村を背景に貧しくとも明るく、たくましく生きるかあちゃんと子どもたちの姿を描く児童劇映画	VHS	51
人権センター	128	131	その他	人権に向き合うための6つの素材	身近な人権問題を考えていく素材として、指針の中から6つの課題を取り上げている。1. 男と女(DV) 2. 老いと尊厳(高齢者) 3. 共生(障害者) 4. 正しく知る(報道被害、HIV感染者等、同和問題)	VHS	27
人権センター	129	132	犯罪被害者	犯罪被害者の人権を守るために	犯罪被害者やその家族の人権が、社会的に重要な課題となっています。被害者の現状を広く伝え、人権について、身近な問題として描かれている。	VHS	33
人権センター	130	133	その他	子ども安全・安心大作戦	子どもたちを犯罪等の被害から守るためにどう取り組んだらよいかを「子ども編」「家庭編」「地域編」の3編に分け、分かりやすくポイント毎に提示している。	VHS	14
人権センター	131	134	その他	桃色のクレヨン	人権意識の希薄化が危惧されている中で、人権意識を「かけがいのない命」ととらえ、「思いやりの心」を大事にすること、この大切なことに気付かせてくれる。子どもも大人も一緒に鑑賞できる作品である。	VHS	28
人権センター	132	135	障害者	心をむすぶ愛のハーネス	全盲の小百合さんと盲導犬カンナが5キロのロードレースに挑戦みごと「走り抜いた」ことで、多くの人々に勇気と希望を与えた。力強く生きる小百合さんとカンナの感動物語である。	VHS	55

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	133	136	その他	かおるちゃんの昆虫日記	小さな生き物から、自然の大切さを学ぶ昆虫大好き感動ドラマ。本州最南端に近い和歌山県古座川町に住む、6000匹の昆虫を採集博士といわれている辻かおるちゃん(12歳)の物語です。	VHS	35
人権センター	134	137	その他	三ねん寝太郎	三年三月も寝てばかりいた若者が、水のとぼしい村に幾山も越えた湖から水を引く決意する。初めは手伝わずに誰もが眺めるばかりだったが、やがて一人二人が手伝い、ついには村中の人たちが給出水路でを切り開く。何事も皆で力を合わせれば出来る事に気づくという物語である。	VHS	40
人権センター	135	138	同和問題	大地の母 きくゑ	差別を乗り越え、人々の温かい心に支えられながら生き抜いたきくゑ…。生活苦から考え出されたうどん作りが、思わぬところで地域社会に役立つことになり、80歳すぎた今でも、きくゑの活動はとどまることを知らない感動の作品である。	VHS	32
人権センター	136	139	高齢者	老いを生きる	誰もが通らなければならない問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品です。	VHS	35
人権センター	137	140	同和問題	部落差別の起こり以前を考える	埼玉県において実施された、被差別部落に対するアンケート結果を検証する。古代よりあった階級制度について。	VHS	21
人権センター	138	141	同和問題	部落差別の起こりを考える	江戸中期におけるばく幕藩制度と被差別身分について。	VHS	22
人権センター	139	142	同和問題	部落差別解消への歩みから考える	明治の部落解放と現在の差別問題。	VHS	23
人権センター	140	143	同和問題	日本の歴史と部落問題 第一巻・前近代史	基本的人権・原始社会・古代社会・中世社会・中世被差別民の生活文化・近世社会と部落の成立・近世部落の役目と仕事・近世部落の生活と文化・差別の強化と差別思想・差別への闘いと解放思想	VHS	50
人権センター	141	144	同和問題	日本の歴史と部落問題 第二巻・近代編	明治維新と解放令・自由民権運動・日本資本主義・近代天皇制・米騒動・水平社の設立と運動・融和施策と運動・15年戦争と部落	VHS	50
人権センター	142	145	同和問題	日本の歴史と部落問題 第三巻・現代編	戦後民主改革と部落解放運動・オールロマンス事件と行政闘争・団体審議答申と同和行政・身元調査と人権啓発・部落地名総監と差別事件・えん罪と差別眼同和字儀容と市民活動・同和教育の展開・反差別国連連帯・部落解放の展望	VHS	50
人権センター	143	146	同和問題	部落の心を伝えたい(第1巻) 更池の語り部	部落のなんで読み書きできへんねん…学校いかれへんから…何で学校いかれへんねん…お金無いからです。何でお金ないねん…仕事ないんです。何で仕事ないねん…。そこに部落差別がある。差別の中で生きてきた吉田小百合さんの講演記録	VHS	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	144	147	同和問題	部落の心を伝えたい(第2巻) 人の値打ちを問う	江口いと、1912年生まれ、87歳。解放ののぞみに生涯を賭けつづけるいとさんの著「荊を越えて」の人生を克明に描いた本作品は、二十世紀の掉尾を飾る人権ドキュメンタリーである。3代にわたる差別を経験してきた江口いとさんの実話である。	VHS	30
人権センター	145	148	同和問題	部落の心を伝えたい(第3巻) あした元気になる	松村智宏さん、1957年生まれ、43歳。顔の見える教師として子どもたち中に飛び込み、人間を育てることを決意した松村さんの姿を追う。	VHS	30
人権センター	146	149	同和問題	部落の心を伝えたい(第4巻) 人の世に熱と光を	二十一世紀の人権文化の思想的原点である「水平社宣言」その精神を清原隆宣さんは、「水平のものさし」の見直しという。人はなぜ平等になれないのか、「水平社宣言」の核心を描いたノンフィクション作品。	VHS	30
人権センター	147	150	同和問題	部落の心を伝えたい(第5巻) 峠を越えて	あらゆる差別をなくしたい、森口さんは、その果てしない闘いに生涯をかけている。現在、徳島県の派遣教育主事としてエネルギーに語りつづけている。	VHS	30
人権センター	148	151	同和問題	部落の心を伝えたい(第6巻) 差別っていったい何や	世代を超えて伝えなければならぬ強い思いがある。川口泰司さんは、26歳、その若さあふれる実践と講演活動から、人権文化の明日が見えてくる。	VHS	30
人権センター	149	152	同和問題	部落の心を伝えたい(第7巻) 人間の尊厳を求めて	2004年自力自闘でつくり上げた「やさしい里」は解放運動50年に及ぶ森田さんの集大成の場。人間の尊厳を求めて、その貧しく苦しい生立ちから学び、人の出会いや長い闘いの中で身につけた理論と実践の後に、成果という大きな足跡が遺っている。	VHS	30
人権センター	150	153	同和問題	だれもが幸せに	文久二年、静岡県のある藩に、差別扱いをした事例の記録が残されている。では、現在の同和問題はどうかを検証する。	VHS	22
人権センター	151	154	同和問題	同和問題・これからの課題	同和問題の今を見つめる。「同和対策事業」の33年間について、何が変わり何が変わらないのかを検証する。	VHS	
人権センター	152	155	同和問題	同和対策とこれからの課題	同和問題を振り返り、同和対策事業の成果とこれからの課題について考える	VHS	
人権センター	153	156	同和問題	新しい世紀にむけて	同和行政、特別特別対策から一般対策へ。人権教育啓発推進センター理事の宮崎繁樹氏と西日本新聞の稲積謙次朗氏のトークを中心に同和施策を語る。	VHS	280
人権センター	154	157	同和問題	今でも部落差別はあるのですか？	同和地区の外で再生産される偏見・差別と忌避する気持ちという今日的な問題について考え合う作品	VHS	

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	155	158	同和問題	新時代へのステップ	これまでの同和行政の成果をふまえ、まだ残っている差別意識についての取り組みを紹介している。	VHS	29
人権センター	156	159	同和問題	いま、部落を語る若者たちの姿	部落という属性を性別や国籍などと同じように受け止め自然に生きる若者たちの姿	VHS	
人権センター	157	160	同和問題	冬のひまわり	オリエンタルニットで働く英美は同和地区出身である。学生時代の恋人、片桐とはそのことが原因で別れた。ある日、偶然再会した。エリート会社員になっているはずだった片桐は、小さな障害者の施設で働いていた。	VHS	55
人権センター	158	161	同和問題	私の質問状	「営業課 滝川亜矢、4月1日付けを持って、営業課総合職を命ずる。」ドリーム不動産に入社して2年目。やっと念願かなった亜矢。そして、先輩の猪木健太郎とコンビを組み、順調なスタートを切ったかにみえたが…。	VHS	32
人権センター	159	162	同和問題	根っこのルール	ルールとは、人がともに生き、何かをするとき必要なもので、法律などの決まり事だけでなく、モラルやマナーもルールといえる。ルールは、平等が前提であるが、平等とは何かを問いかけている。	VHS	37
人権センター	160	163	同和問題	残照の中で	病を機に「自分は幸せだったのか…」「真実に生き得たのか…」と思い悩み始めた大企業の会長、速水は、自らの人生を検証しようと、40年ぶりに故郷の土を踏んだ。40年前、速水が恋人と別れ故郷を離れたのは…	VHS	55
人権センター	161	164	人権一般	若い波紋	高校生の恵は、転校生や、ボランティアをしている友だち、テレビの仕事をしている兄との関わりの中で、人権について考えさせられることがあり、学校で人権研究会を立ち上げることにした。	VHS	
人権センター	162	165	同和問題	にんげんの歌	部落差別問題に直面することになった18歳の少女ミツコが、その差別の根源を求めて、時空を越えた、幻想的な旅を続ける姿を通じて、私たちの周辺にまかり通っている差別が、いかにいわれなきものであるかを明らかにしていく。(アニメ)	VHS	26
人権センター	163	166	同和問題	きずな にんげんの歌パート2	江戸時代に確立された身分制度に夜部落差別は、21世紀を迎えようという現代もなお、社会的事実として残っている。部落差別の典型である結婚問題を取り上げ、いかに不当なものであるかを考える。(アニメ)	VHS	30
人権センター	164	167	同和問題	ふたりのタロウ	小学校六年生のタロウは転校生のアキラを仲間はずしにした。不気味な風が吹き、江戸時代のタロウが現れ、人から仲間外しにされることがどんなにつらいことか、実際に体験させてやろうと言われ、江戸時代にタイムスリップする。(アニメ)	VHS	26
人権センター	165	168	同和問題	だんじり囃子	同和地区に育った主人公が、地区に伝わる伝統文化を通して、人と人とのふれあう姿を描いている。小学校で差別した級友たちとだんじりを通じて心を通わせていく。	VHS	54

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	166	169	同和問題	淳一よ！明日の空へ	高校受験を前に、同和地区出身の義理の父と、医師である実の父との関わりの中で成長する主人公の姿を描く。	VHS	54
人権センター	167	170	同和問題	そして出発	差別による心の傷を抱えた2組の夫婦の交流と葛藤を中心に、人間としての誇りと偏見を取り払うことの大切さを描く。	VHS	54
人権センター	168	171	同和問題	ツイズ17	雨が降れば川は濁流、同和地区は遊水池となり農作物は全滅。そこには恐ろしい差別の歴史があった。この差別の歴史を学んだ若者たちは、今、新しい時代を切り開こうとする感動のドラマ。	VHS	54
人権センター	169	172	同和問題	花咲く日	田舎で二人暮らしの老夫婦、弟の結婚に反対するエリートサラリーマンの長男。家族の各人が人間の尊厳と差別の実態の中でその重要性を理解して同和問題を解決していく作品。	VHS	54
人権センター	170	173	同和問題	はるか素顔の19歳	キャディの主人公が同和問題に出会い悩むが、先輩や友人の誠実な生き方を学び勇気づけられる。	VHS	54
人権センター	171	174	同和問題	雨上がり	金融破綻が相次ぐ日本。銀行に勤める若者が上司の同和問題に対する間違った考え方に直面するが、正しく理解をすることで上司の考え方を正していく。	VHS	54
人権センター	172	175	同和問題	青春のヒューマンステージ	「筑前竹槍一揆」の鑑賞により、自己の差別に気付く。	VHS	31
人権センター	173	176	同和問題	青空のように	母親のたちの集まり「乙女の会」で差別的な発言があったことがきっかけで、子どもたちは楽しみにしていたバーベキューや芋掘り大会は中止になってしまった…。	VHS	47
人権センター	174	177	子ども	人に一番近いまち2	不登校の小学生トオルの中に絶えずイライラさせる何か、それをトオルは「あいつ」と呼んでいる。「あいつ」の声が聞こえてくると、トオルの心は高ぶり乱暴になる。祖母に預けられ安らぎを得ていくが、祖母の入院でふたたび…。	VHS	54
人権センター	175	178	同和問題	おーい	実際に起きた差別事件をもとに無知・無関心が差別につながることを訴える。	VHS	45
人権センター	176	179	同和問題	さわやかに風吹く町	渡辺家の長女明子は、同和地区生まれの男性との交際している。両親の反対や会社での中傷に悩んでいる。明子の両親は自分たちの中に差別意識や偏見があったことに気づく。	VHS	54

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	177	180	同和問題	善良な人々	差別は特別な悪意だけに根付くものではなく、誰にでも、日常の中にある、しかも善意の中に存在する。…家族の日常生活を舞台に、善意の中にある差別について問題提起をしている。	VHS	56
人権センター	178	181	同和問題	素顔の心で	大衆食堂を主な舞台に、離婚した二組の男女、これから結婚しようとする男女が織り成すドラマである。調査会社に勤める主人公は部落差別と直面し、自分だけの幸せが本当に幸せなのか自問自答する。…素顔の心でみんなが手をつなぐためにできることは何かを考えさせる作品	VHS	53
人権センター	179	182	同和問題	チェリーブラッサム	友情や愛情の関わりの中で、差別と直面したときどうするかを問う《アニメ》	VHS	42
人権センター	180	183	同和問題	みえないライン	現実の社会が持つ矛盾を「学歴」「階層」「不平等」などをキーワードに、ドラマを機軸に実際にインタビューを交え、差別を社会全体の中に位置づけて考えた作品である。	VHS	55
人権センター	181	184	同和問題	燃えろ！青春のかがり火	晶子と誠一は、友人の紹介で知り合い、共通の趣味であるテニスを通して愛を育んできた。二人が結婚を意識したとき、誠一が暴力を振るう少年グループを注意したことから窮地に追い込まれていく。《アニメ》	VHS	30
人権センター	182	185	同和問題	輝ける日々へ	同和地区出身のまさ子は、父を交通事故でなくし母子家庭である。生徒会長で、成績優秀であるが、大学には進学せずに就職を希望している。就職試験の当日、祖母は出身地のことで不採用になるのではないかと心配している…	VHS	42
人権センター	183	186	同和問題	結婚	健さんのプロポーズに屈託なく答えた美子さん。しかし家族の猛烈な反対と無理解な親戚のまえに、五年の月日が必要だった。しかも縁を切ると言われて…。まだ見ぬおじいさんに対し、長女は「私たちがいうことを認めてほしい」と語り出す。	VHS	33
人権センター	184	187	同和問題	らくがき	さつきと兄ときよの三人組は釣りに出かけた。乗り継ぎ駅の男子トイレで「ドウワノルナ」の落書きを見つける。人権を侵害した落書きだと気付いた三人組は、犯人捜しを始める。差別落書きに対してどう行動すべきかを学ぶ作品	VHS	35
人権センター	185	188	同和問題	風化からの告発	1978年の部落地名総鑑事件から20年有余年。あの時の戒めを破り差別を商う調査会社。企業と市民の差別意識を鋭く問うドキュメント。	VHS	32
人権センター	186	189	同和問題	あかね雲	このことを一体、何人の人が、本当に理解しているだろうか。往々にして私たちは知らぬうちに人を傷つけ、そのことさえ築かないことがある。誇り・やさしさ・たくましが込められた作品である。	VHS	53
人権センター	187	190	同和問題	太郎のかがみ	鏡は太郎の心を映す。「ぼくの顔、笑ってる…ぼくの心も笑っています」純粋な子どもたちに同和問題を正しく理解し、差別といじめのない社会を。同和地区出身の先生が級友の差別について語り合う機会を与える話である。	VHS	56

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	188	191	子ども	夢、空高く	中学二年生の真一は、成績優秀な生徒だが、一流高校や大学に入れという両親の期待に応えることが、心のストレスとなっていて、いじめの仲間に加わった。そんな辛い気持ちを唯一、理解してくれるのは、インターネットの「心の相談室」だった。《アニメ》	VHS	41
人権センター	189	192	同和問題	春をまつ雪	家族に反対されながらも同和地区の青年と結婚し、差別発言を乗り越えていく佐枝子の姿を描く。	VHS	53
人権センター	190	193	同和問題	三月三日の風	水平社誕生物語。全国水平社創立者の一人、西光万吉の半生を描いた作品。浄土真宗では、御仏の前では、すべての人が平等である。水平社という名前の「水」も常に平らで平等である。	VHS	53
人権センター	191	194	同和問題	そっとしておけば・・	「そっとしておけば自然に差別がなくなる」という考え方は、根強く存在している。部落差別の根本的解決の方向を問うドラマと解説がある。	VHS	
人権センター	192	195	同和問題	バースデイレストラン	父の死により暮らし始めた場所が同和地区だと知り困惑する少女の姿を描く。自分の両親の離婚の原因が部落差別であったことを知り、差別と正面から向き合い乗り越えていこうとする。	VHS	30
人権センター	193	196	人権全般	絵のある町ー ひまわり公園で	ひまわり公園の中で、町に住む人々の本当のふれあいを求める紀子と、親子の愛情を探す亜弥。外国人や同和問題などの差別や偏見、さまざまな本音が飛び交う。人権を身近な問題として考える。	VHS	54
人権センター	194	197	同和問題	虹のかけ橋	中学生の聡は転校して三か月も経っていないのにサッカーの活躍で人気者である。ところが、聡が部落出身であることがクラスみんなに知れ渡ったことから様子が…。《アニメ》	VHS	30
人権センター	195	198	子ども	走れ、ジョン	達也が愛犬のジョンと公園で遊んでいると、見知らぬ少年に出会う。翌日、その少年はぼくのクラスの転校生としてやってきた。ぼくは友だちになれそうな気がしたが、ふとしたことから、いじめが始まってしまった。ぼくはどうすればいいのだろう。《アニメ》	VHS	24
人権センター	196	199	同和問題	川の約束	豊かな自然をたたえる江の川流域には、差別と闘いながら、知恵と技で築かれてきた漁撈文化がある。川とともに生きてきた漁師の姿を通して部落差別の問題を考える。	VHS	
人権センター	197	200	同和問題	残された日記	早坂は、突然妻を亡くし、立ち直れないまま毎日を送っていた。偶然見つけた、妻の日記から、「本間みつえ」という人を知る。同和地区でたくましく生きる女性の存在を知り、共に生きる意味を見出す姿を描く。	VHS	56
人権センター	198	201	同和問題	明日があるから	三重県の人権教育のために制作された作品。社会部に配属された新米記者の西村みのるは、高齢者問題の取材のため訪れた老人ホームで、そのホームで働いている佐藤まさに出会い、彼女の生き方に興味を持つ。	VHS	28

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	199	202	同和問題	同級生	小学五年生早苗は、父の転勤により東京から滋賀県に引っ越してきた。そこは、父の故郷だが、早苗は馴染めず友だちもできない。和太鼓クラブへ入部を希望するが、父は強硬に反対する…。	VHS	30
人権センター	200	203	同和問題	ひとりひとりの空	商事会社の部長の父親、母親、OLの長女、中学生の次女。そんな平凡な一家の一人一人が会社、学校、地域社会の中でさまざまな差別問題にであう。その中で精一杯努力していく一家の姿を明るいドラマで描き、問題の解決に向け、共に考えていく。	VHS	54
人権センター	201	204	子ども	わすれるもんか	クリスマスイブに開かれた目の不自由な正彦のギター演奏会に集まった満員の聴衆を感動させたものは…幼稚園の元先生や元番長健治…心温まる物語。	VHS	40
人権センター	202	205	人権全般	みえない凶器・偏見	「人づてに聴いた事柄は真実がわかるまでは態度を保留すべきだ」とドイツの経済学者シュレジンガーの言葉である。これが本当の作品のねらいである。受刑者を父にもつ一家を巡って町の人々が予断による悪意を投げかける中で、偏見について考える。	VHS	29
人権センター	203	206	人権全般	私たちと人権・家庭編	私たちは家庭生活を営むとき、知らず知らずのうちに家族や、地域の人たちの人権を侵すことがあります。生活での身近な人権問題を考える。	VHS	26
人権センター	204	207	人権全般	未来からのメッセージ	スーパーマーケットの経営者が、娘の推薦で被差別部落出身の青年を雇用しようとする、周囲の人々から強い反対を受け、迷いが生じてきた。だが、ある日、考えを変えるような夢をみた…。	VHS	25
人権センター	205	208	同和問題	Meet the ヒューマンライツ 若者たちが出会った人々	日頃あまり意識していない「人権」本作品は6人の若者たちが、人権問題に取り組んでいる人や当事者の人たちと実際に話し合い、話を聞き、事実を知り、率直に話し合う。	VHS	27
人権センター	206	209	同和問題	ヒューマン博士と考えよう	差別されてきた人々の歴史と暮らしに焦点を当て、歴史の中で作られた差別や偏見の解消につなげる	VHS	
人権センター	207	210	人権全般	世の中すべての人々のために ～世界人権宣言ができるまで～	第二次世界大戦のひげきの中から生まれた人類のもっとも高邁な理想の一つ、それが世界人権宣言です。この基本的な国連文書は、あらゆる社会を判断する尺度となっている。	VHS	30
人権センター	208	211	その他	天皇陛下・古稀をお迎えになって	古稀をお迎えになった・天皇陛下の70年間の記録	VHS	40
人権センター	209	212	人権全般	参加型学習ビデオⅡ「人権」 ファシリテーターへの第一歩	人権研修におけるファシリテーターの役割と具体的なアクティビティを紹介する。	VHS	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	210	213	人権全般	人権感覚のアンテナって？	自らが人権感覚のアンテナに気付き、人権が尊重される社会を目指す。	VHS	39
人権センター	211	215	同和問題	二つめの門	父が死んで故郷に戻り再就職したミドリは、住所変更届を提出することになっていたが…伊東はその用紙を見て眼をむいた。企業の管理用紙が投げかけた波紋をドラマで描き、内在する人権問題点を考える。	VHS	43
人権センター	212	216	同和問題	ザ・会社	えせ同和行為による被害は、どの会社にも起こりうる可能性がある。これに直面した担当者を主人公に、何に悩み、どう対処し、どう解決したかを描く。実際のえせ同和行為への対応を解説する作品。	VHS	30
人権センター	213	217	子ども	校長先生が泳いだ	足の不自由な明るい少女が水泳大会に出場することになった。仲間たちの熱い声援、校長先生のすばらしい愛情は、いつまでも心に残る。	VHS	20
人権センター	214	218	子ども	友情のキックオフ	小学校のサッカーチームにすごい選手が入ってきた。転校生の誠だ。サッカーと友情をバックにいじめや差別を許さないことを強く訴える。	VHS	27
人権センター	215	219	同和問題	大山君、奮戦	新任の大山は、企業同和問題研修担当となった。彼の前には様々な試練や困難が待ち受けていた。一つ一つ乗り越える大山君の姿を描く。	VHS	56
人権センター	216	220	公正採用	公正な採用と選考	新たに採用選考を任されることになった女性担当の活動をドラマ構成で描き、公正な採用選考のあり方を見直し忘れられている原点を理解する。	VHS	26
人権センター	217	221	公正採用	採用と選考	ある会社の人事部を舞台に「募集」「選考」「面接」各場面を設定し、公正な採用選考のための重要なポイントを提起。公正な採用は優秀な人材の確保にもつながる。	VHS	26
人権センター	218	222	同和問題	サンセット・サンライズ	新しい感覚で民宿経営に取り組もうとしている女性の家族を舞台に、その家の娘の危機を救った同和地区出身の青年と姪との結婚問題をめぐって、とまどい揺れ動く家族や周囲の人々が織りなす人間模様等を描き、共に生きることの必要性を訴える。	VHS	49
人権センター	219	223	人権全般	公正な採用選考をめざして	誤った固定観念にとらわれた人事担当者が、同僚や応募者とのやりとりの中で、採用選考の根本に立ち返り、より良い採用選考を目指す。	VHS	28
人権センター	220	224	同和問題	父さんが泣いた日	家族ぐるみで付き合いをしていた安田家と岡本家。ある事件がきっかけで、仲たがいをすることになってしまった。その訳は… 人権を身近な問題として考えてもらう。	VHS	28

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	221	225	人権全般	公正な採用って？	公正採用選考人権啓発推進委員に任命された川崎紀子、先輩社員の投げかけた疑問に戸惑いながらも、役割を全うしようと研究を始める。「職業安定行政機関との連携」「公正な採用選考システムの確立」「経営問題と人権問題の展望」など、整理しながら学んでいく。	VHS	29
人権センター	222	226	同和問題	渋染一揆	人間としての誇りに命を賭けた人々と一揆の顛末を描く。1856年に岡山で被差別部落の人々が平等と人間の誇りを守るために起こした一揆をアニメーション化。	VHS	50
人権センター	223	227	同和問題	こんど逢うとき	日系3世の尚美が日本に部落差別や外国人差別があることを知る。同和問題に対して正しい理解と認識を深め、いじめ問題を含め人権とは何かを学習する。	VHS	55
人権センター	224	228	同和問題	明日への彩り	隆は昼工場で働きながら定時制高校に通っている。クラスメート則子からアルバイト探しを頼まれる。則子は同じ職場で働いていたが、差別を受け辞めていった友だちのためだった。	VHS	55
人権センター	225	229	人権全般	「私」のない私 同調と傍観	ドラマと解説の二部構成で問題を提起している。人権研修やワークショップでの活用に最適な、新しいタイプのビデオ教材である。	VHS	30
人権センター	226	230	子ども	やめよう！ ネットでのウソと悪口	インターネットでは相手には、声の大きさや、顔の表情を読み取ることができない。インターネットを使うとき多人数迷惑をかけたか、お互いに不愉快な気持ちにならないように、上手に利用するにはどうしたら良いのかを紹介している。	VHS	27
人権センター	227	231	同和問題	ひかり	高校生の光平は、先輩である映像作家のドキュメンタリー撮影の手伝いに、ある被差別部落を訪ねる。そこでおなじ高校生が未だに差別に苦しんでいることを知り、それぞれ自分の中の差別意識を見つめ、自分勝手な思いこみがいかに差別とむすびつくかに気づく。	VHS	50
人権センター	228	232	子ども	一人ぼっちの狼と七匹の子やぎ	森に嫌われ者でひとりぼっちのオオカミが住んでいた。ある日オオカミは、子やぎたちを食べようとやぎのうちに忍び込むが…。森の中で仲間はずれにされたオオカミを通してやさしさとは何かを考える。《アニメ》	VHS	22
人権センター	229	233	子ども	よっちゃんの不思議なクレヨン	よっちゃんは、おばあちゃんから不思議なクレヨンもらった。その帰り道、森にさしかかったとき、雨が降ってきた。よっちゃんはクレヨンで、赤い傘と青い空を画用紙いっぱい描いた。……《アニメ》	VHS	22
人権センター	230	234	子ども	ぼくだって、きれいにしたいんだ	小学校三年生の正夫は、最近、すすけた服を着ている。すすけたマーヤンとあだ名をつけられ、からかわれたりいじめられたりするようになった。その正夫が、ある日からぶつりと学校に来なくなった… 《アニメ》	VHS	15
人権センター	231	236	同和問題	部落の心を伝えたい(第8巻) ぬくもりを感じて	中倉茂樹さん29歳 山と川に抱かれた徳島県吉野川市に生まれた。現在、警備会社で働きながら、「部落差別を無くすることに、人生を賭けたい」と講演活動を続けている。	VHS	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	232	237	同和問題	部落の心を伝えたい(第9巻) 私からはじまる人権	柴原浩嗣さん43歳、妻千雅子さんともに人権問題に深く関わる人生を選択した。三人の子どもたちに恵まれた今、一番の問題は小学六年生になった子に部落出身をどう伝えていくかということ。「私からはじまる人権」の実践であり、「そして、あなたは?」と問う。	VHS	27
人権センター	233	238	同和問題	部落の心を伝えたい(第10巻) えびす舞に思いを乗せて	辻本一英さん55歳、被差別民の生活文化や伝承芸能の調査研究と掘り起こしの取組をライフワークとしている。地元では自主夜間学校、芝原生活文化研究所などを主宰しながら、阿波木偶箱回しを復活する会の仲間とともに、講演活動を行っている。	VHS	28
人権センター	234	239	子ども	いじめゼロをめざして	お父さん、お母さん、先生、子どもたちの心の叫び、届いているだろうか? いじめ根絶には日常の中で悩みを持った子供のSOSを速やかにキャッチし、対応することです。いじめにあった少女のドラマを通じて、家庭と学校の連携の大切さを訴える。	VHS	30
人権センター	235	240	子ども	いじめを克服する	いじめをひとりで抱え込んで苦しんでいる子どもたちが非常に多いようです。この作品では元いじめられっこたちがいかにいかにいじめを克服したか、その体験を語ります。	VHS	15
人権センター	236	241	子ども	今、中学生として	いじめ根絶は非常に難しい問題です。今を生きる中学生は「いじめ」「友だち」についてどう考えているでしょう。中学生に考えを聞かせてもらった。	VHS	14
人権センター	237	242	子ども	いじめ・親として	上履きのまま帰宅した娘(中2)の様子の変化から父と母は、わが子へのいじめに気付く。しかし、本人はそのことを認めようとはしなかった。そこで両親は…。わが子がいじめにあったとき、親はどうしたら良いのか。その基本姿勢を示唆する。	VHS	
人権センター	238	243	子ども	小さな一歩から	養護学校を取材し、そこで生活する障害者の学習風景を紹介。ボランティア活動に参加している中学生たちの様子をドキュメント。とまどいの中から見いだした者は…	VHS	20
人権センター	239	244	高齢者	春ふたたび	祖父が「再婚するつもりだ」と切り出したところ、長男夫婦と嫁いでいる長女から反対ののろしがあがった。その中で孫娘だけは「私、おじいちゃんの味方だからね」と行ってくれた…。心温まる物語を通じて、お年寄りの生き甲斐の問題を考える。	VHS	30
人権センター	240	245	子ども	援助交際を考える	増加する性非行。身も心も傷つくのは女性なのに…。取材による再現映像と、子どもたちの生の声で構成。援助交際＝性の商品化であることを示し、性非行予防を訴える。	VHS	20
人権センター	241	246	子ども	教師のための不登校Q&A	先生方が日々疑問に思っている不登校に関することや、対応に苦慮されていることについて答えるビデオである。不登校体験者と親御さんの本音も交えている。	VHS	22
人権センター	242	247	いじめ	いじめへの挑戦	いじめをなくすには、学校と家庭の信頼関係のもとに手を携え、「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」といった固い決意で取組を行うことが大切です。この視点からいじめ防止運動を勧めてきた町の、いじめへの挑戦の歩みを描いている。	VHS	32

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	243	248	人権全般	「人権」って何だろう	人間が生まれながらにして持っている基本的な権利で、誰もが平等に幸せに生きる権利を持ち、誰も侵してはならない人権について、五年三組でのドラマを通して、問題提起をし子どもたちに考えてもらう。	VHS	14
人権センター	244	249	人権全般	はだしのゲン	誰でも親しめるわんぱく少年ゲンの姿を生き生きと描き、戦争のむごさ、恐ろしさを、まざまざと表現して大きな反響を呼んだ、中沢啓治原作の劇画の映画化である。	VHS	107
人権センター	245	250	いじめ	見上げた青い空	中学生の、巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじられる側もいじめる側も苦しんでいる。いじめの本質を直視して、改めていじめについて考える。	VHS	43
人権センター	246	251	高齢者	私たちの声が聴こえますか	女優渡辺美佐子の「ひとり芝居」を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取り組みとして、実際、施設内で行われた活動の紹介。	VHS	30
人権センター	247	252	子ども	ひとみ輝くとき	子どもの世界で起こっているいじめや虐待の問題を大人が自分のこととして解決を考えられるため、また、子どもたちがいじめの構造を知って、自分の立場から考え、みんなで話し合いが出来るための作品である。	VHS	35
人権センター	248	253	いじめ	いじめから逃げない	いじめの傍観者になり、関わりたくない、いじめられている人の痛みを考えたくない。そう思いいじめを見逃している自分に気づかせることのできる作品である。	VHS	19
人権センター	249	254	子ども	傷つけられる思春期	2008年6月に発生した秋葉原無差別殺傷事件を背景に、親や周囲の大人と思春期の子どもとの関わり方を扱った作品である。	VHS	25
人権センター	250	255	人権全般	人権を行動する ーその時あなたはどうしますかー	人権を守ることの大切さがわかっていながらなかなか行動に移せない。このビデオでは3つのケースを設定して、その分岐点を示し行動するかしないかの理由を考えてもらう。その3つは、①セクハラ ②個人情報の保護 ③部落差別である。	VHS	25
人権センター	251	256	人権全般	私の好きなまち	東京からふるさと神戸に戻ってきた不動産業の家族、その家族の娘は関西弁を笑ったことでいじめに遭う。母は姑と家事で対立する。隠された靴を見つけてくれた同級生は同和地区出身だったことから家族に波紋が…。差別のない町にしようと立ち上がる父。	VHS	35
人権センター	252	257	同和問題	紡ぎだす未来 ～共に生きる～	ある日、突然、父親から祖父母が部落出身であったことを告げられた会社員の自分は、初めて差別される不安に襲われる。その一方で身近に偏見や差別によって排除される在日の存在に気づく。	VHS	35
人権センター	253	258	外国人	ぶらく新世代シリーズvol.1 風の人になりたい	環境教育プランナー岡本公介の米国の旅に密着。インディアン居留区や黒人解放の地で、子どもたちの教育に命をかける決意をする姿を描く。	VHS	37

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	254	259	同和問題	ぶらく新世代シリーズvol.2 ダリットに学ぶ部落の心	反差別国際運動で働く板東希が、ふるさと和歌山からのインド訪問によるスタディツアーを引率する。カースト制度が残るダリットの地から、日本のかつての被差別部落との類似性に気づき、参加者も連帯への思いを強くしていく。	VHS	36
人権センター	255	260	同和問題	ぶらく新世代シリーズvol.3 出会いを紡ぐ	米国留学の経験を持つ川崎那恵とピースボートで世界一周した武田緑は、互いにリスペクト。川崎は部落の暮らしを書き残そうとお年寄りに聞き取りを始める。武田は人権教育のネットワークづくりに取り組む。	VHS	30
人権センター	256	261	人権全般	この空の下で	町内会長の役が回ってきた家族、そんなとき、ゴミ出しを巡って外国籍の市民が疑われる。発達障害の子どもを抱える近所の悩みや会社人間だと思っていた同僚が介護を学んでいると知る。住民間の偏見や壁をなくし共に生きる町をつくらうとする家族の姿を描く。	VHS	42
人権センター	257	1	拉致問題	拉致	北朝鮮による日本人拉致の悲劇を描く。	DVD	20
人権センター	258	2	人権全般	裸足のゲン	誰でも親しめるわんぱく少年ゲンの姿を生き生きと描き、戦争のむごさ、恐ろしさを、まざまざと表現して大きな反響を呼んだ、中沢啓治原作の劇画の映画化である。	DVD	107
人権センター	259	3	外国人	ひろがれチャンゴの響き	人権のまちづくりは、地域の大きな課題となっている。国、県、市町村の関係機関と地域住民が一体となって作り上げて行いくものである。この作品は、在日外国人、とりわけ在日コリアンを中心に取材したドキュメンタリーである。	DVD	38
人権センター	260	4	インターネット	ケータイネットの落とし穴(1) ネット社会の道しるべ	ケータイネット社会を健全に生きぬくための基礎を学ぶ。 1. 架空請求と個人情報 2. メール交換と友だち関係 3. 掲示板となりすまし	DVD	25
人権センター	261	5	インターネット	ケータイネットの落とし穴(2) ケータイ社会の落とし穴	ケータイネット社会を健全に生きぬくための基礎を学ぶ。 1. メールと依存症 2. ケータイサイトと不正請求	DVD	25
人権センター	262	6	インターネット	ケータイネットの落とし穴(3) ブログ社会の落とし穴	ケータイネット社会を健全に生きぬくための基礎を学ぶ。 1. ブログと個人情報 2. ブログと権利侵害	DVD	30
人権センター	263	7	同和問題	同級生	小学五年生早苗は、父の転勤により東京から滋賀県に引っ越してきた。そこは父の故郷だが、早苗は馴染めず、友だちもできない。和太鼓クラブへ入部を希望するが、父は強硬に反対する…。	DVD	30
人権センター	264	8	同和問題	バースデイレストラン	父の死後、暮らし始めた場所が同和地区だと知り、困惑する少女の姿を描く。自分の両親の離婚の原因が部落差別であったことを知り、差別と正面から向き合い乗り越えていこうとする。	DVD	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	265	9	パワハラ	こころに咲く花	団地に住んでいる矢野加奈子はサラリーマンの夫と中学生の息子との三人暮らしである。加奈子は派遣社員として働いている会社で、パワーハラスメントを受けている社員を見て、いたたまれなくなっていく...	DVD	35
人権センター	266	10	子ども	ああ！危ない・君ならどうする	子どもたちの生命を守るために、低学年にも親しまれるお姉さんキャラクターとして春さくらが、登下校、遊びの中に、いろいろな危険な場所が登場する。	DVD	27
人権センター	267	11	子ども	学校を守れ！不審者の侵入を防ぐ	いつ学校で事件を起こしても不思議ではない。警察官が到着するまでの時間に子どもたちと先生の命を守るためにどう対応したらいいのか。その安全対策を考える危機管理マニュアル映像である。	DVD	28
人権センター	268	12	障害者	風の旅人	ベッド式の車いすを通りかがりの人々に押ししてもらい旅をする...。人々の間を風のように駆け抜けた。実在の重度身体障害者の感動的な生きざま。	DVD	30
人権センター	269	13	高齢者	明日はわが身 ～老人介護と助け合い～	みんなで考える高齢者問題・健康ですこやかな老後を送りたい。だが現実はどうか...。今老いを自分自身の問題として...。ドキュメンタリーとドラマで語る。	DVD	30
人権センター	270	14	その他	AUSCHWITS 1 大量虐殺への道	世界史上最悪の大量虐殺が行われた場所ーアウシュビッツ収容所。その誕生と返還を追う。	DVD	44
人権センター	271	15	その他	AUSCHWITS 2 死の工場	1942年ナチスはヴァンゼー会議で、ユダヤ人問題の最終解決について着手し、ポーランドではヒムラーによるユダヤ人絶滅の命令の後、各地に「死の工場」が建設された。	DVD	44
人権センター	272	16	拉致問題	めぐみ	拉致被害者、横田めぐみさんを待つ家族の苦悩を描いた作品《アニメ》	DVD	25
人権センター	273	17	外国人	響け大地に、人の心に	ひかるの父親はブラジル人である。ひかるはクラスの中で嫌がらせを受けていた。そんなひかるを助けてあげたいと山岡今日子が音楽発表会でのひかるとの演奏に立候補する。	DVD	30
人権センター	274	18	高齢者	親愛なる、あなたへ	退職を間近に控えていた会社人間の男は、妻の突然の交通事故死に遭う。家庭のこと、地域のことを何も知らなかった男は途方に暮れてしまう。しかし、近所の居酒屋夫婦に助けられながら自立し、同じ街に住む人たちに助けの手を貸すようになる。	DVD	37
人権センター	275	19	外国人	ホームタウン 朴英美(パク・ヨンミ)のまち	在日韓国人3世が学校や社会で経験する様々な葛藤を描きながら、本名を名乗り、看護師として前向きに生きようとする。	DVD	54

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	276	20	パワハラ	職場の人権 相手のきもちを考える	社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに遭遇することによって、相手のきもちを考えるとどういふことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描く。	DVD	27
人権センター	277	21	虐待	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 一見えない虐待をしないために一	実例3話のオムニバスドラマ。仁木やす子先生がドラマに沿って、問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介する。 1 稽古事に通わせる親のエゴの押しつけ 2 読み書きの劣るわが子への体罰 3わが子の学校での態度を細部まで問いただす父	DVD	25
人権センター	278	22	虐待	虐待防止シリーズ 高齢者虐待 一尊厳を奪わないために一	実例3話のオムニバスドラマ。田中荘司先生がドラマに沿って、介護の問題点と虐待防止の対応法をわかりやすく紹介する。1 脳梗塞になった妻の面倒を自分がみると聞かない夫2 歩行障害の出た父に対して、運動を強要し、食事を制限する。3 母の認知症を、娘がなかなか受け入れず、縛り付けておく。	DVD	26
人権センター	279	23	DV	虐待防止シリーズ 配偶者虐待 一DVを許さない・しないために一	実例2話のオムニバスドラマ。自らがDV被害者でもある高橋実先生がドラマに沿って、問題点と対応法をわかりやすく紹介する。1 頻繁に電話をし家を空けることを嫌う夫、怒ってもものに当たる2 結婚後も暴力をふるう、生活費を入れない夫	DVD	25
人権センター	280	24	セクハラ	見てわかる改正均等法のセクハラ対策シリーズ 気づこう！職場のセクシャルハラスメント	性別や雇用形態を問わず、誰もがセクハラに加害者にも被害者にもなりうる中で、どのような言動がセクハラになるのかを、状況等のタイプ別に解説している。	DVD	20
人権センター	281	25	セクハラ	見てわかる改正均等法のセクハラ対策シリーズ 管理職がセクハラ加害者にならないために	上司の何気ない言動が部下へのセクハラになることがある。上司がセクハラに加害者になるケースを、価値観によるタイプ別に解説している。	DVD	20
人権センター	282	26	セクハラ	見てわかる改正均等法のセクハラ対策シリーズ セクハラ対策と管理職の役割	もし、セクハラに加害者と被害者が自分の部下だったら、管理職はどうすればいいのか。対応方法や相談の受け方をわかりやすく解説している。	DVD	21
人権センター	283	27	DV	デートDV 一相手を尊重する関係をつくる一	1 デートDVとは デートDVの未然防止のためのDVD 2 高校生カップルに起きているデートDV再現ドラマ 3 身体だけでなく心への暴力、DVの種類 4 デートDVを起こす要因の3種類	DVD	30
人権センター	284	28	パワハラ	なくそう、防ごう、気づこうアカデミック・ハラスメン	大学等の研修や啓発の際の教材として アカデミック・ハラスメントはどういうもので、どれほどつらいものかを知るため	DVD	12
人権センター	285	29	その他	AUSCHWITS 3 収容所の番人たち	アウシュビッツ周辺に45の収容所が建設された。収容所は墮落した生活を送っていた。売春宿でもあり、闇取引の場所でもあった。そういう腐敗した実態を見ることができる。	DVD	44
人権センター	286	30	その他	AUSCHWITS 4 加速する殺戮	毎日1万人もの人々が殺された。1棟につき100人のユダヤ人が殺戮のための任務に就かされた。そのユダヤ人労働班員が殺害に協力せねば殺されるといふ苦悩を語る。	DVD	44

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	287	31	その他	AUSCHWITS 5 解放と復讐	アウシュビッツ収容所は、戦後、解放されたが、衰弱した囚人たちは命を失い、女性は強姦され、祖国に帰っても平和はなく虐待される人もいた。	DVD	44
人権センター	288	32	子ども	声を聞かせて	優衣は携帯を買ってもらいメールに夢中。友達から学校裏サイトの存在を教えてもらう。夏希は携帯をもたないために、仲間から敬遠されていた。そんな夏希をかばったばかりに優衣は悪意ある書き込みをされる。優衣は学校に行けなくなるが…。	DVD	40
人権センター	289	33	子ども	あの空の向こうに	明日香は自分のブログに悪意あるコメントが書き込まれた。明日香の母は、メールばかりしている明日香に意見してくれと夫に頼むが取り合わない夫に夫婦げんか。そんな家庭に心配して祖父が田舎から出てきて明日香を預かることになる。	DVD	38
人権センター	290	34	子ども	ねずみくんのきもち	いつもねこくんにいじわるをされるねずみくん。いじわるされるのは、自分が小さくて気が弱いからかなと思う。落ち込んでいると、フクロウ君はやさしく話しかける。	DVD	12
人権センター	291	35	同和問題	同和問題と人権	ふるさとが同じ5人が帰省する途中、同和問題について話題となる。差別事件がなくなること、その歴史、差別がなくならないわけなどを話し合うことで、同和への理解が深まる。	DVD	28
人権センター	292	36	パワハラ セクハラ	職場で起こるハラスメントの基礎知識	ハラスメントとはどういうものか、各種ハラスメントの基礎知識を解説。ハラスメントに対する誤解をなくすためのヒントを与える従業員向け、ハラスメント対策教材である。	DVD	50
人権センター	293	37	パワハラ セクハラ	メンタルヘルスと人権	30歳の会社員は、日々の過重な勤務とハラスメントで疲れていく。妻との亀裂も生まれうつ病になる。そんな彼が回復から職場復帰まで、彼を取り巻く人間を描く。問題提起型のドラマ	DVD	30
人権センター	294	38	パワハラ	ワークライフバランス	ワークライフバランスの実現に欠かせない管理者と社員の意識改革。長時間残業、子育てや介護と仕事の両立など、その取り組みや心構えを説く。	DVD	50
人権センター	295	39	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ11 あすなろを生きる	40年近くも続く福岡の「あすなろ解放学級」今も地区外から毎週大勢の人たちが学び合い、話し合い、涙する。代表の野上早苗さんが語る一人から始まる解放運動とは。	DVD	26
人権センター	296	40	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ12 若い力は今	自らの差別体験を通して「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん。今、講演依頼が相次ぐ。若さあふれる熱い語り口は、行政・学校・企業で人気を呼んでいる。	DVD	30
人権センター	297	41	子ども	毎日がつらい気持ちがわかりますか ゆるせない！ ネットいじめ	学校に持ち込み禁止のケータイをもってきている友達がいる。そのことを教師にちくつたと誤解された主人公がいじめを受ける。靴を隠されたりネットいじめにあったり。アニメ版なので小学生にもわかりやすい。	DVD	18

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	298	42	子ども	ケータイ・パソコン その使い方大丈夫？	ケータイやパソコンを使う際のルールとマナーはもちろんのこと、トラブルに遭わないための対策や、遭ってしまったときの対応策をドラマ仕立てで描く。	DVD	22
人権センター	299	43	人権全般	私が私らしくあるために 職場のコミュニケーションと人権	契約社員として職場復帰した主人公。この職場は多忙の余りお互いへの配慮が欠け、バラバラになっていて、大事なプレゼンに失敗してしまう。それを克服していく。	DVD	26
人権センター	300	44	人権全般	働きやすい職場をめざして ～こころの健康と人権～	ストレスを生む職場とはどういう職場か、皆が生き生きと働きやすい職場にするためにはどんな配慮をすると良いかを、職場全体で話し合えるきっかけとなるビデオである。	DVD	26
人権センター	301	45	人権全般	日常の人権Ⅰ ～気づきから行動へ～	女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権のそれぞれがドラマ仕立てとドキュメンタリーの二部構成で作られている。	DVD	23
人権センター	302	46	人権全般	日常の人権Ⅱ ～気づきから行動へ～	外国人の人権、障害者の人権、部落差別、インターネットの人権侵害の4つが、それぞれドラマ仕立てとドキュメンタリーとの二部構成で作られている。	DVD	23
人権センター	303	47	子ども	小学生のための人権パート1 思い込みに気づく	二つのテーマで構成。一つは、ホームレスの人に対する私たちの思いこみを考えさせる内容。二つめは、身体障害のスクールカウンセラーの暮らしの様子からちがいを受け入れることの大切さを考えさせる内容である。	DVD	14
人権センター	304	48	子ども	小学生のための人権パート2 大切なわたし大切なあなた	二つのテーマで構成。一つは、小学生のときネグレクトにあったAさんが施設で自分を大切にすることを取り戻す。二つめは、いろんな人のインタビューを聞くことで自分を大切にすること、他人を大切にすることを考えさせる。	DVD	15
人権センター	305	49	子ども	インターネットの向こう側	高校で学校裏サイトを使ったネットいじめが起きる。また、なりすましのプロフを作られ被害を受ける生徒も出てくる。担任は、これらは人権侵害であると、生徒や保護者と話し合う。	DVD	26
人権センター	306	50	子ども	ハードル	小学6年生の主人公は、友人の万引きを目撃する。しかし、友人の名前を言わなかったために犯人と誤解される。周りの大人も信じてくれないので傷つく。中学生になって部活への入部を断ったのが原因でいじめを受け、大きな事件が起きるアニメ。	DVD	84
人権センター	307	51	障がい者	軽度発達障害 —障害の支援の考え方—	児童の支援に当たる教師や青少年団体の指導者向けに、軽度発達障害についての医学的事柄や支援時に必要な考え方を説明している。	DVD	
人権センター	308	52	同和問題	私の中の差別意識 —部落差別問題から考える—	あからさまな部落差別は影を潜めたが、結婚差別や就職差別は残っている現状である。差別された人々の心の痛みをドキュメンタリーで伝え、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけ提供している。	DVD	24

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	309	53	インターネット	インターネットと人権	インターネットに関して起こっている実際の人権侵害を取材し、その背景やインターネットの特性について考え、情報化社会の中で私たちがどうすればいいか考える。	DVD	22
人権センター	314	54	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ第8巻 ぬくもりを感じて —刺激的ナイスガイ中倉茂樹—	徳島県に生まれ、現在警備会社で働きながら、年間70回に及ぶ部落差別をなくすために講演活動を続けている。内容は、いじめにあい続けた小学校時代、部落民宣言で知ったぬくもり、結婚差別との戦い。	DVD	30
人権センター	315	55	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ第13巻 母娘で問うた部落差別 —坂田かおり・愛梨・瑠梨—	鳥取県米子市を拠点に活動する坂田かおりさん。愛梨さん、瑠梨さんとの母娘講演が今大きな反響を呼んでいる。部落差別の実体験をもとに、あらゆる差別にNOを訴える。	DVD	30
人権センター	316	56	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ第14巻 人権感覚を磨きませんか —大湾昇—	沖縄出身の父と部落出身の母の下、徳島県で生まれ育った大湾さん。心理テストや自筆のマンガを使ったユニークでユーモラスな講演が、人権問題をわかりやすく説く。	DVD	30
人権センター	317	57	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ第15巻 夫婦で差別と闘います！ —石井真澄・千晶—	琵琶湖のほとり、結婚3年の石井夫妻。部落出身の妻と部落外の夫は、結婚差別を契機に講演活動を始めた。異なる立場からの夫婦講演が差別の実態を重層的に暴いていく。	DVD	30
人権センター	318	58	人権一般	人権のヒント 地域編 —「思い込み」から「思いやりへ」—	喫茶店のママのところに、さまざまな思いを抱く人々が集まる。その交流の中から人権のヒントを考え、思いやることの大切さを理解する。	DVD	25
人権センター	319	59	人権一般	人権のヒント 職場編 —気づきのためのエピソード集—	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃気づかない人権のヒントを探り、職場で考えるべき人権問題を提起する。男女の役割・セクハラ・パワハラ・障害者との共生・同和を含む。	DVD	22
人権センター	320	60	女性	女性の人権シリーズ 暴力は愛じゃない！ —男女交際のハラスメント—	由香は恋人の石村からメールにすぐ返信しないと暴力をふるわれ行動を監視された。両親に受け止めてもらったことのない由香は愛に飢えていたため、石村の愛を信じていたが、先輩からのアドバイスで、自分の弱さに目覚めていく。	DVD	21
人権センター	321	61	女性	女性の人権シリーズ 職場いじめは許さない！ —職場のモラル・ハラスメント—	正一の職場では、部下の飯田が、交際を断られた腹いせに妻越友美にいじめを行っていた。妻越は正一に相談するが、その苦しみを受け止められない。やがて妻越は自殺未遂を起こす。労務担当者から正一の人権意識の低さを指摘される。	DVD	19
人権センター	322	62	女性	女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント—	和枝は、夫の正一に侮蔑的な言葉を浴びせられるが、反論することを許されない。デートDVに遭っている娘の由香も威圧的な父に萎縮していた。正一に、交際している女性がいるとわかりながら黙認してきた和枝は、ある日、精神的に追い込まれ交通事故に遭ってしまう…。	DVD	19
人権センター	323	63	子ども	クリームパン 「いのちと人権」	子どもへの虐待や若者の自殺などの事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、「いのち」について自分の問題として受け止めてもらえるようなドラマ仕立てとなっている。	DVD	36

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	324	64	公正採用選考	内定者からの手紙 ー公正な採用選考のためにー	公正な採用選考の基本となる人権尊重の意識が、採用選考のプロセスの隅々まで、会社全体に広くいきわたることの重要性をテーマにして作られている。	DVD	26
人権センター	325	65	子ども	いじめケース・スタディ ーみんなで考えようー	いじめには無視、暴力、プロフ、ブログ、掲示板での誹謗中傷がある。それぞれのケースに合わせて、どう対処すればいじめ被害が解決できるか、再現ドラマを交えて、尾木直樹先生がわかりやすく解説する。	DVD	16
人権センター	326	66	女性 パワハラ えせ同和	あなたの職場は大丈夫？ セクハラ・パワハラ・えせ同和行為	宴席でのお酌を強いられたり、上司に食事に誘われたりするセクハラ問題。自分だけが上司につらく当られるパワハラ問題。えせ同和への対処法が具体的に語られる。	DVD	46
人権センター	327	67	同和	差別意識の解消に向けて(第1巻) 一般向け 人権のまちづくり	大阪府内のまちづくりの現場を訪ね、差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝える。	DVD	29
人権センター	328	68	同和	差別意識の解消に向けて(第2巻) 企業向け 宅地建物取引における土地差別	同和地区に対する忌避意識が宅地建物取引でどのような差別として現れるかドラマで再現し、取引業に携わる人たちのインタビューを通して、その対処法を考える。	DVD	23
人権センター	329	69	同和	差別意識の解消に向けて(第3巻) 行政向け 土地差別問題を考える	購入しようとする土地や住もうとする校区が、同和地区かどうかとの問い合わせがあった場合、行政職員としてどう対応すべきかを考える。	DVD	24
人権センター	330	70	同和	部落の心を伝えたいシリーズ第3巻 あしたの元気にああれー元気配達人・松村智弘	松村智宏さん、1957年生まれ、43歳。顔の見える教師として子どもたち中に飛び込み、人間を育てることを決意した松村さんの姿を追う。	DVD	27
人権センター	331	71	同和	部落の心を伝えたいシリーズ第6巻 差別っていったい何やねんー歩く水平社宣言・川口泰司	世代を超えて伝えなければならぬ強い思いがある。川口泰司さんは、26歳、その若さあふれる実践と講演活動から、人権文化の明日が見えてくる。	DVD	30
人権センター	332	72	同和	部落の心を伝えたいシリーズ第16巻 ドラゴン流”人権とダンス”ー松村柳子	京都市内の部落で育ったドラゴン先生が、ダンスサークルを結成して、ダンスで育む人とのつながり、心の癒しをめざす10年間の取組みを語る。	DVD	30
人権センター	333	73	同和	部落の心を伝えたいシリーズ第17巻 仕事作りが私の仕事ー植波鈴枝	解放運動に生きた父の心を継ぎ、同和地区人材雇用開発センターに就職して20年、就職困難者の就労支援を通して人権確立の社会づくりに取り組む姿を伝える。	DVD	25
人権センター	334	74	人権全般 高齢者	桃香の自由帳	小学2年生の桃香の行動から、日常の何気ない言動をふり返ることで、私たちが見失いつつある、人と人とが寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかける。	DVD	36

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	335	75	人権全般	それぞれの立場それぞれのきもち 職場のダイバーシティ	年代や経験、価値観の異なる人たちがどのような思いを持っているかを描き、コミュニケーションの重要性和ダイバーシティの考えに沿って行動することの大切さを伝える。あわせてユニバーサルデザインの実際にもふれている。	DVD	32
人権センター	336	76	高齢者 女性 パワハラ 同和	今、地域社会と職場の人権は	増える高齢者問題、子育てする女性の問題、ハラスメント問題、同和問題に視点を当て、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけていく4部構成のドラマである。	DVD	36
人権センター	337	77	人権全般	えっ！これも人権？－4コマ劇場より－	吉沢京子が進行役で、フィクションだが、日常ありがちな風景としての人権問題を取り上げ、子どもたちの巻・暮らしの巻・会社の巻の3部構成で問いかけるミニドラマである。	DVD	30
人権センター	338	78	人権全般	一人ひとりの世界人権宣言 第1巻	世界人権宣言の成立や内容について説明。あいりん地区の「むすび」による人権の紙芝居活動を紹介。さらにかつてハンセン病患者として隔離された人の姿を追っている。	DVD	30
人権センター	339	79	人権全般	一人ひとりの世界人権宣言 第2巻	世界人権宣言の成立や内容について説明。あいりん地区の「むすび」による人権の紙芝居活動を紹介。さらに障害者の車椅子ダンスの取り組みから障害者の人権について語っている。	DVD	29
人権センター	340	80	人権全般	一人ひとりの世界人権宣言 第3巻	世界人権宣言の成立や内容について説明。あいりん地区の「むすび」による人権の紙芝居活動を紹介。第1巻と同じ。さらにかつてハンセン病患者として隔離された人の姿を追っている。	DVD	30
人権センター	341	81	ホームレス	人権ってなあに 第9巻 温もりある社会を－野宿生活者とともに－	野宿生活者の現状や前向きに生きようとする姿、彼らの仲間を支える市民の活動、そして行政の取り組みを紹介する。	DVD	40
人権センター	342	82	障害者	人権ってなあに 第10巻 －この街で一緒に－	障害者にかかわる4つの事例と、障害者のインタビューを通して障害とは何かを伝える。①視覚障害者、②精神障害者、③身体障害者、④知的障害者などが生き生きと暮らしている実情を伝える。	DVD	42
人権センター	343	83	女性	人権ってなあに 第12巻 －誰でもどこでも－ ～男女平等をめざして～	非正規労働者、職場でのセクハラ、家庭でのDVなどについて女性たちの声に耳を傾け、均等待遇、女性の人権を確立する活動を取り上げ、男女平等に向けた可能性を考える。	DVD	40
人権センター	344	84	同和	どうしてそんなことを聞くの －公正な採用選考のために－	企業が採用選考を実施する際、公正なエントリーシートを使用することが大切だが、そのエントリーシートのあり方と採用選考担当者に必要な情報を提供している。	DVD	27
人権センター	345	85	子ども インター ネット	1 勇気のお守り 2 自分の胸に手を当てて アニメ	1 転校生の林太郎は級友との事件をきっかけに学校を休むようになる。しかし、人権SOSミニレターによって立ち直る。2 洋平は、学校裏サイトへの書き込みによって学校を休むようになる。しかし、人権110番への相談やクラスでの話し合いを通して、その問題について考える。	DVD	17

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	346	86	子ども	新ちゃんがないた！	身体に障害のある新ちゃんと、彼を取り巻く子どもたちの生活を通して、身近にある差別について考える教材。	DVD	36
人権センター	347	87	子ども	しらんぷり	アキラはドンチャンがいじめられているのを目撃した。いじめの矛先をかかわすため、もやもやした気分のママと傍観するアキラ。ドンチャンが学校に来なくなったある日、おでん屋のおじさんに出会って……。	DVD	21
人権センター	348	88	デートDV	デートDVって何？	若者が交際相手との間で、暴力の被害者にならずに、対等な関係を築けるよう、事例を交えながらデートDV防止について学ぶ。	DVD	22
人権センター	349	89	虐待	虐待防止シリーズ 児童虐待・高齢者虐待・DV	「児童虐待」、「高齢者虐待」、「ドメスティック・バイオレンス(DV)」を取り上げ、子どもや高齢者、配偶者に対する虐待の事例をドラマで描くとともに、問題点や第三者としての関わり方について専門家のコメントを紹介する。	DVD	46
人権センター	350	90	人権全般	チビ六 二死満塁	「二死満塁」それはチビ六が迎えた大ピンチ。少年野球チームエッグスを中心に町の人気者のチビ六の勇気と友情を笑いと涙で描く児童劇大作。	DVD	50
人権センター	351	91	人権全般 幼児 小学校 低学年	手をつなごう	学校や幼稚園、保育園ならびに家庭において、親しみやすい形で人権問題とは何かを簡単明瞭で分かりやすく問いかね、人権への正しい理解と認識を深める内容となっている(絵本10作品を収録)。	DVD	70
人権センター	352	92	パワハラ	職場の日常から考えるパワーハラスメント	ある会社で起こる様々な出来事(パワハラなのかそうでないのか、線引きが難しい事例を中心に)を一本のドラマで描く。より働きやすい職場をつくるために、働く人がそれぞれの立場から、「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどうすればいいのかを学ぶ。	DVD	28
人権センター	353	93	障害者	勇気あるホタルと とべないホタル	羽が縮んで生まれたためにとべないホタルと、彼を励まし、助けあう仲間のホタルたち。足が不自由な妹のために、ホタル採りにやってきた姉と弟。子どもたちとホタルのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描く。	DVD	17
人権センター	354	94	高齢者	たぬきのいる町	山あいの美しい田舎町で、焼き物一筋に生きる頑固じいさんと、ものをつくる喜びを知る子どもたち。都会から遊びにきたとも子、わんぱく少年五郎とつとむが、おじいちゃんと家族の心のすれちがいを救う。	DVD	52
人権センター	355	95	人権全般	シリーズ第1弾 Jun&Kei の企業と人権	企業にとって時代のキーワードは「人権・環境・安全」を言われているが、「人権問題って本当に必要？」との声はまだ多いのが現実。人権漫才で「個人情報」、「男性・女性」、「障害者」、「外国人」、「部落差別」を分かりやすくエスコートする初級・入門編。	DVD	29
人権センター	356	96	障害者	構えない 隠さない 飾らない ～障害者雇用最前線～	障害者雇用の最新7事例を紹介	DVD	36

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	357	97	外国人	「外国人労働者問題から多民族共生を考える」	企業と労働者双方の声を描かれたドキュメンタリー	DVD	32
人権センター	358	98	障害者	知的障害者の雇用への道 ～歩きはじめた医療現場からの実践から～	知的障害者を医療の現場で実際に雇用了事例をドキュメンタリーで紹介	DVD	27
人権センター	359	99	子ども	わたしたちの声 3人の物語 ～「全国中学生人権作文コンクールテスト」入賞作品をもとに～	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品を原案とし、3人の作者の中学生が人権について考えを深めていく過程をドラマで描く。	DVD	45
人権センター	360	100	子ども インター ネット	小学生のためのケータイ・ネット教室 ～こんなトラブルに気を付けて～	急速に普及が加速する携帯電話やパソコン。小学生の携帯電話少輔率も年々増加している。本作品では、携帯電話を利用してトラブルに巻き込まれた小学生の事例を扱い、安全で正しい使い方を解説する。	DVD	30
人権センター	361	101	障害者	モップと箒 ～大阪発の障がい者雇用～	知的障害者や就職困難者を支援する「エル・チャレンジ」の取り組みを元にしたドキュメンタリー映画	DVD	30
人権センター	362	102	人権全般	ほんとの空(文部科学省選定作品)	誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちが我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることとしてとらえ、日常の行動につなげていくようにと訴える。	DVD	36
人権センター	363	103	人権全般	新・人権入門	ドラマパートと、それを演じた俳優たちがそのシーンを振り返るパートの2部構成になっていて、俳優たちの意見交換を通して、視聴者も一緒になって学ぶことのできる教材。	DVD	25
人権センター	364	104	同和問題	人権アーカイブ・シリーズ ①同和問題～過去からの証言、未来への提言～ ②同和問題 未来に向けて	わが国固有の人権問題である同和問題に焦点。2本立てで構成され、①は行政や企業等の様々な団体で人権教育・啓発に携わる職員向け、②はドラマ仕立ての一般向け。	DVD	①61 ②19
人権センター	365	105	様々な人権	人権は小さな気づきから	人権は身近なところに存在し、見た人が心のどこかに潜む差別心に気付くことができるよう、8つの身近な人権問題を取り上げている。1テーマ4分程度。【8つのテーマ】いじめ(SNS)、子ども、障がい者、風評被害、虐待、女性、高齢者、病気を患った人	DVD	34
人権センター	366	106	家庭の人権、子ども、LGBT、障がい者	家庭の中の人権 カラフル	人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていく。このビデオは、両親と人生の巣立ちを迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げている。【収録テーマ】他人の噂、子どもの就職・結婚、LGBT、障がい者、多様性	DVD	31
人権センター	367	107	LGBT	性的マイノリティと人権	性的マイノリティの入門編として作成され、チャプター5から構成されている。(1)性的マイノリティとは(2)ドラマ「トランスジェンダーの中学生 陽菜の場合」(3)性的マイノリティが置かれた現状(4)ドラマ「同性愛の会社員 雄輔の場合」(5)誰もがいきいきと暮らせる社会	DVD	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	368	108	全国人権作文コンテスト入賞作品朗読	未来を拓く5つの扉	全国中学生人権作文コンテストの入賞作品5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介している。(1)本当の国際化とは(2)電車内に咲いた、笑顔の花(3)立ち止まる(4)NO!と言え強い心をもつ(5)絆 その他(落合恵子審査委員長からのメッセージ)	DVD	46
人権センター	369	109	こども同和問題障害者	イマジネーション 想う つながる 一歩踏み出す	何気ない日常の中で他の人の「心」を想像することをおろそかにしていませんか・まず、「想像」すること、相手をしること、想うこと。そこから人と人がつながる。あなたは、イマジネーション出来ていますか?	DVD	34
人権センター	370	110	患者	心のケアと人権 職場編	主人公は、職場の配置転換後にストレスと仕事の過重によりうつ病と診断された。周囲は「さぼり」「仕事のできない言い訳」と陰口を叩く。主人公の今後の対処について悩む上司は、人事担当者と共に問題の解決について話し合う。	DVD	22
人権センター	371	111	患者	人権アーカイブ・シリーズ ①ハンセン病問題 ②家族で考えるハンセン病	ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業の人権啓発にかかわる職員などが身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的な経緯、当時の情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめています。在庫2本。	DVD	①56 ②20
人権センター	372	112	同和問題	部落の心を伝えたい結婚差別400事例	「夫婦で闘う部落差別」「400事例に学ぶ」「他人ごとではなく」かえあなる。高知の被差別部落に私生児として生まれ徳島に移り住む。地区外の出身の夫と共に30年解放運動を続ける。結婚差別の相談に奔走し、自らの問題として考えてほしいと願い活動を続けている。	DVD	28
人権センター	373	113	同和問題	部落の心を伝えたい 心の窓を拓いて	「地元小学校に復帰」小学校教師、全国同和教育研究協議会、大阪府教育委員会等を通じ人権教育に深く携わる。教育のチカラを信じる日々。「三つの明石さん」、「同和教育と人権教育」講演では自分の信条で職場に元気と勇気を与える。	DVD	30
人権センター	374	114	その他	ボクの居場所	過去に犯罪や非行をした人を雇い入れ、その立ち直りを支えている「協力雇用主」と、そこに働く人々の姿を密着取材して、立ち直りのために必要なことは何かを示している。	DVD	30
人権センター	375	115	人権全般	わかかカフェへようこそ	町の路地にたたずむ小さな輪カフェにはさまざまな人々が店に集い、交流する様子が描かれています。店のオーナーとお客との会話から3つの身近な人権問題(インターネット、高齢者、外国人)について、大切なことを学んでいきます。	DVD	35
人権センター	376	116	障害者	聲の形	現代の子どものリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを自然に考えることのできる原作の「聲の形」の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。	DVD	30
人権センター	377	117	外国人	外国人と人権 ちがいを認め、ともに生きる	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にすることに人権尊重の社会を作り上げるために何ができるかを考える。在庫2本。	DVD	33
人権センター	378	118	インターネット	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用するうえでの危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめました。在庫2本。	DVD	30

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	379	119	全国人権作文コンテスト入賞作品朗読	わたしたちが伝えたい、大切なこと	入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して、「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。	DVD	31
人権センター	380	120	その他	フェアな会社で働きたい	人事部の新入社員の体験をドラマにして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権の在り方について学ぶ教材として制作しました。	DVD	25
人権センター	381	121	障害者	障がいこそえて	障がい者は、自分とは違う世界の人……。そんな「心のバリア」を、あなたも感じたことはないですか。このビデオに出ている人たちの多くも、最初は壁を感じていました。しかし相手に向かって一歩踏み出すことで、必ず壁には穴が開き、そこから新しい景色が見える……。そんな3つの事例を追いかけました。	DVD	30
人権センター	382	122	同和問題	そんなの気にしない	この作品は、二人の友達同士が主人公です。タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白した時に返ってきた言葉です。告白した方は、相手にもっと知ってほしかった。告白された方は、相手がそのままの相手でも何も変わらないことを伝えなかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違っていきます。	DVD	17
人権センター	383	123	同和問題	あなたに伝えたいこと	インターネット時代における同和（部落差別）問題について学ぶ教材として制作しました。	DVD	36
人権センター	384	124	女性	あした咲く	姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれ合いを通して、別の視点や価値観に気づきます。女性はもちろんすべての人が、「自分の花」を生き活きと咲かせることができる社会の実現を目指すきっかけとなるよう作成された、人権啓発ドラマ。	DVD	36
人権センター	385	125	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ第2巻 人の値うちを問うー人権の詩人・江口いとー	人権の詩として広く知られる「人の値うち」の作者であるいとさんは、息子の差別、孫の差別と三世代にわたる差別を経験してきました。就職・結婚・学校現場での差別体験に基づく人間存在への視点は鋭く、しかし暖かいもの。解放の希いに生涯を賭け続ける、いとさんの人権ドキュメンタリー作品。	DVD	25
人権センター	386	126	同和問題	部落の心を伝えたいシリーズ第4巻 人の世に熱と光をー西光寺・清原隆宜ー	21世紀の人権文化の思想原点である「水平社宣言」。その精神を清原隆宜さんは、ズバリ「水平のものさし」の見直しと言っています。人は何故平等になれないのか、人は何故尊敬しあえないのか、西光万吉の系譜を引く清原隆宜さんを通して、「水平社宣言」の核心を描いた作品。	DVD	26
人権センター	387	127	高齢者	ここから歩き始める	この作品は、「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる、介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材。	DVD	34

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	388	128	人権全般	国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを願って	人権が尊重される社会を実現するための人権に対する理解や相互に尊重し合うことの必要性を考える作品。*本DVDは在庫が2本あります。	DVD	35
人権センター	389	129	企業と人権	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	企業向けに実施する研修で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成されている。ハラスメントやえせ同和行為についての作品。	DVD	40
人権センター	390	130	同和問題	ともに生きる私たちの未来 「部落差別解消推進法」がめざすもの	「部落差別解消推進法」の背景とネット上での新たな差別実態、被差別部落にルーツを持つことへの誇りと自信についての作品。	DVD	38
人権センター	391	131	拉致問題 子ども被害者	Voice!!!人権の教室	人権を自分の問題として考える機会となるよう制作され、PTAや青少年育成に係る方など幅広い場面で活用できるように構成されている。	DVD	38
人権センター	392	132	同和問題	部落の心を伝えたい 番外編「恥ずかしい」のはどっちだ 差別する側・される側	40年に亘り同和教育の変革を訴え続け、意識革命の端緒を開いた社会学者の江嶋修作(77)が提唱する「人権テイク・ルート(根を張る)」とは。	DVD	27
人権センター	393	133	LGBT	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ④ 誰もがその人らしく	周りにいたけれども見えなかったLGBTの人たちが見えてくるストーリー。LGBTの人たちは確かに存在し偏見や差別に苦しんでいる。	DVD	20
人権センター	394	134	LGBT	LGBTシリーズ トランスジェンダー～ 未悠・彩・歩夢 ～	未悠・彩・歩夢3人三様の本音トークとドキュメントで構成された本作品は彼らの真の姿と共に、それぞれの家族や友人たちの思いを描く。	DVD	25
人権センター	395	135	子ども(若者)虐待	君が、いるから	母親からの心理的虐待に悩む若者がコンビニを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに新たな価値観に気づいていく作品。	DVD	33

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	396	136	企業と人権	企業活動に人権的視点を② ～ 会社や地域の課題を解決するために ～	CSRや人権的視点を取り入れている組織へのインタビュー、取り組みの様子を紹介するドキュメンタリー *本DVDは在庫が2本あります。	DVD	25
人権センター	397	137	障害者	障害がある人と人権 ～ 誰もが住みよい社会をつくるために ～	障害のある人が直面する人権問題やバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介する作品。 *本DVDは在庫が2本あります。	DVD	33
人権センター	398	138	LGBT	学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性	LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取り組みに抵抗する同僚など実際の学校現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることができます。	DVD	38
人権センター	399	139	LGBT	学校の取組 ②当事者に寄り添うために	LGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介します。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	DVD	38
人権センター	400	140	LGBT	①いろいろな性 ～好きになる性～	異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないと言った性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者(ゲイ、レズビアン)である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。	DVD	23
人権センター	401	141	LGBT	②いろいろな性 ～心の性・表現する性～	体の生徒心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング・・・心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取り組まれてきています。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。	DVD	19
人権センター	402	142	LGBT	③性的指向と性自認 〈解説編〉	統計によると、人口の約8%前後がLGBTsであると推定されています。しかし、学齢期の早い段階での教育を待ち望まれているが、教員自身の正確な知識や理解が追いついていないという現状があります。本巻では、性の多様性を解説し、LGBTsを取り巻く社会の動きなども紹介し、その理解を深めます。	DVD	22
人権センター	403	143	LGBT	パパは女子高生だった	野球少女？だった。赤い服が嫌い、スカートを履くのがイヤ、女の子が好き、…そして初潮に傷つく。 愛の二人三脚。ビビッ！ときた出会いから結婚、出産。二人三脚で戦った長い裁判を通じて多くの得難い友人たちも得たと言う。 絶賛発売中！自らの直球人生を赤裸々に描いた「パパは女子高生だった」を出版。妻が絵を担当、夫婦の愛の証だ。	DVD	28

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	404	144	同和(部落差別)問題	ネット差別を許すな	形を変えた部落差別 ネット上で部落/部落出身者が晒される。無法地帯化するネット上の差別の現実を差別はがきを送られた当事者自らが語る「寝た子」はネットで起こされる 無知・無理解・無関心な人ほど危ない！ネット社会の危険性と構造を解き明かし、行政、企業、個人でのネット対策を提起。	DVD	28
人権センター	405	145	ハラスメント	グレイゾーン事例から考える	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴は潜んでいます。もしかしたら、普段の何気ない言動が、知らぬ間にハラスメントになっているかもしれません。ハラスメントを生まないために、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていきます。	DVD	25
人権センター	406	146	子ども	ひとみ輝くとき	本ビデオは、子供の世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもの家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成が出来ることを願い、研修・学習ビデオとして制作されました。また、子どもたちが本ビデオを鑑賞して、「いじめの構造」を知ったとき、自分ほどの立場にいるのかを判断し、皆で考え話し合いのできる作品になっています。	DVD	35
人権センター	407	147	高齢者	— ばあちゃんは認知症だった —	小中学生の認知症サポーター作文コンテスト最優秀作品”「やさしくする」ということ”映画化。 あのとき、認知症をもっと知っていれば…。	DVD	33
人権センター	408	148	外国人 インターネット	～あなたの言葉で～	作品のテーマは、「SNS時代における外国人の人権」です。 「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです、	DVD	36
人権センター	409	149	同和(部落差別)問題	映像で学ぶ 部落差別解消推進法	下記の3つのタイトルで構成されています。(各タイトル15分) ①「部落差別解消推進法」の制定と部落差別の現在 ②「部落差別解消推進法」の法的意義と活用方法 ③「部落差別解消推進法」の条例化と私たちの役割	DVD	45
人権センター	410	150	同和(部落差別)問題	部落の心を伝えたい 番外編 つなぐ×なくす ～岡本工介～	グローバル(世界とつながる) + ローカル(地域のこだわる)、岡本工介はグローバルな生き方で人権問題と向き合う。アメリカに於ける先住民族や黒人への差別、日本に於ける部落差別や障がい者差別、それらの過酷な現実を体験する中で掴み取った独自の具体的実践の数々。 「つなぐ」から「なくす」、そして「共に生きる」へ。確かなビジョンを抱きエネルギーに活動する今を、原体験である13年前の北米縦断1万キロの映像も交えて描く。	DVD	25

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	411	151	同和(部落差別)問題 高齢者 LGBT	にんげん図鑑 ～よき出会いのために～ こども向け	部落、ダウン症、ユニークフェイス、認知症、LGBTなど、あらゆる人権課題に対する向き合い方を、大人にもこどもにも分かりやすく提示する。田中幸夫監督のドキュメンタリー映画とビデオ作品を再構成。	DVD	23
人権センター	412	152	同和(部落差別)問題 高齢者 LGBT	にんげん図鑑 ～よき出会いのために～ 中学・一般向け	部落、ダウン症、ユニークフェイス、認知症、LGBTなど、あらゆる人権課題に対する向き合い方を、大人にもこどもにも分かりやすく提示する。田中幸夫監督のドキュメンタリー映画とビデオ作品を再構成	DVD	30
人権センター	413	153	企業と人権	企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる。社会が変わる	事例1:障がい者雇用 事例2:高齢者雇用 事例3:ワーク・ライフ・バランス 事例4:継続的な震災復興支援 事例5:人権に関する社会貢献 解説・企業の社会的責任と人権	DVD	103
人権センター	414	154	企業と人権	企業活動に人権的視点を② 会社や地域の課題を解決するために	事例1:ユニバーサルデザイン 事例2:ワーク・ライフ・バランス 事例3:外国人雇用 事例4:LGBTへの対応 事例5:地域社会への貢献(SDGsの実践) 解説・企業の社会的責任と人権	DVD	97
人権センター	415	155	LGBT	わたらしく あなたらしく 多様な性を生きる	多様な性が存在することに対する無知や無関心によって生じる差別や偏見。それが根強く残る今の社会で、性的マイノリティの人にとって、本当の自分をカミングアウトすることは容易ではない。このビデオでは、悩みながらも自分らしく生きようとする性的マイノリティの人たちの姿を通して、多様な性がともに生きる社会はどうあるべきかを考えていく。	DVD	38
人権センター	416	156	同和(部落差別)問題	許すな「えせ同和行為」 ～あなたの会社を不当な 要求から守ろう～	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。えせ同和行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害するものです。本DVDでは、えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。	DVD	36

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	417	157	LGBT	はじめて学ぶLGBTs① 男らしい色 女らしい色	小学校低～中学年の児童には「性的指向と性自認」の知識を教えるというよりは、「人はみなそれぞれ違うこと、その違いがいいこと」「こうあらねばならない、ということとは決してない」といったメッセージを伝えることが大切です。アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見にとらわれることの無意味さに気付き、自分らしくあることの素晴らしさ、他社を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てる機会とします。授業展開のための具体的指導案も示してあります。	DVD	12
人権センター	418	158	LGBT	はじめて学ぶLGBTs② 好きになってはいけないの	本巻は、同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情の在り方は決して画一的なものではなく多様であり、異性を好きになる人も同性を好きになる人もおり、いずれかに価値があるのではなくどちらも肯定的に捉えることができる構成になっています。また、小学校中～高学年には自分の性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在しており、そうした当事者児童の自己肯定感が阻害されることなく勇気づけられ、自尊感情を育めるように配慮してあります。授業展開のための具体的指導案も示してあります。	DVD	22
人権センター	419	159	LGBT	映像で学ぶジェンダー入門③ 結婚・家庭におけるジェンダー	本巻では、しばしばメディアでも取り上げられる夫婦別姓、事実婚といったテーマをはじめ、家事の分担、出産や子育てなど、結婚や家庭におけるジェンダーに関する様々な事柄について身近な事例をもとに考えます。	DVD	38
人権センター	420	160	LGBT	映像で学ぶジェンダー入門④ 労働とジェンダー	「女性の社会進出」が謳われる昨今ですが、女性の労働環境は様々な面において多くの課題が残されています。統計を見ても男女間の賃金格差は非常に大きく、性別による職務分離、マタニティ・ハラスメントといった問題も依然として存在します。 この間ではそうした労働におけるジェンダーの諸問題がどのようにして生み出されるのかを学び、これからの労働の在り方について考えます。	DVD	35
人権センター	421	161	高齢者	カンパニユラの夢	主人公の岸本麻帆はあることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。一方、20年以上ひきこもり状態にある谷口誠一とその両親は問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。そして、麻帆は谷口家の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こします。 急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることと認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす内容となっている。	DVD	36

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	422	162	コロナ	私たち一人ひとりができること ～当事者意識をもって考える コロナ差別～	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染への不安から、感染した方への誹謗・中傷や、特定の職業につく人々への不当な差別などの、いわゆる「コロナ差別」が問題となっており、各自自治体でコロナ差別解消に向けた様々な取り組みがおこなわれています。 本作品は、「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。	DVD	26
人権センター	423	163	インターネット	いわれなき誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考える インターネットにおける人権	この作品では、根拠のない誹謗中傷により、20年以上にもわたって大きな被害を受け、現在にいたるまで誹謗中傷を受け続けながらも、誹謗中傷と闘い、乗り越えていく経験をお持ちのスマイリーキクチさんに出演いただき、ネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実際の事例話もとに考えるものです。	DVD	20
人権センター	424	164	子ども	夕焼け 「ケアラー～だれもが人権尊重 される社会を～」	この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。ケアは、他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	DVD	35
人権センター	425	165	同和(部落差別)問題	部落の心を伝えたいシリーズ第33巻 12年後の決断 ～吉岡綾～	第12巻「若い力は今」から12年。その間、綾さんは結婚し、生活環境も激変した。二人のこどもに部落についてどう伝えるべきか。母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにある。	DVD	28
人権センター	426	166	同和(部落差別)問題	部落の心を伝えたいシリーズ番外編 靴下の穴から未来が見えた 上巻	20代から70代の世代を超えた論客5人が、部落問題を語りつくす前代未聞のシンポジウム。長時間に渡る白熱の議論を、上下巻にまとめた。	DVD	27
人権センター	427	167	同和(部落差別)問題	部落の心を伝えたいシリーズ番外編 靴下の穴から未来が見えた 下巻	70代 江嶋修作(社会学者・解放社会学研究所所長) 40代 川口泰司 (解放研究所理事・山口県人権センター事務局長) 50代 坂田かおり(解放研究所理事・人権テイク・ルート代表) 20代 愛梨・瑠梨(看護師) いずれも明るく楽しく真面目な講演スタイルで全国に多くのファンをもつ。	DVD	27

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	428	168	インターネット	スマホは情報モラルが大切 1巻 ～ネットいじめをしない！SNSでの出会い に気を付けよう！～	本作品では「ネットいじめ」「SNSでの出会い」の2つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。	DVD	25
人権センター	429	169	インターネット	スマホは情報モラルが大切 2巻 ～もう一度よく考えよう！ 写真や動画の投稿～	本作品では「個人情報流失」「炎上」の2つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。	DVD	18
人権センター	430	170	コロナ	君が笑っていた ～ソーシャルディスタンスの罠～	新型コロナ感染は、感染者、その家族・親族や、病院関係者への誹謗中傷・差別を生みました。単身・シングルマザー世帯などすでに経済的にひっ迫していた人々に加え、学生・一般世帯の人々をも厳しい生活状況へ追い込んでいます。本作品は、急激に姿を変える社会の現実を通じ、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品です。	DVD	23
人権センター	431	171	LGBT	レインボーストーリーズ LGBTsと医療 ①患者とのコミュニケーション	この巻では同性愛者や性別不合の患者とのコミュニケーションにおける注意点をドラマで描きます。先輩看護師とのOJT(On the job Training)のドラマを通して、無自覚に発せられた言葉が相手を傷つけていないかを考えます。	DVD	21
人権センター	432	172	LGBT	レインボーストーリーズ LGBTsと医療 ②誰もが安心して通える病院づくり	この巻ではLGBTs当事者やその家族が通いやすい病院や診療環境づくりをドラマ仕立てで考えます。待合室の呼び方から病衣などの問題をはじめ、医療現場で起こりがちな様々な課題を扱い、実践的な取り組みや診療コミュニケーションの在り方に具体的なヒントを示すとともに、医療従事者が性の多様性を学ぶ必要性を喚起します。	DVD	23
人権センター	433	173	その他	相談面接の技法	相談面接の技術・技法は精神・保健・福祉・医療・教育・企業のメンタルヘルスなど多岐にわたる領域で必要とされる技術です。このDVDでは相談面接で使われる基本的な技法を取り上げ、ドラマ仕立てでの事例を通して解説します。 インテーク面接 傾聴と受容と共感 言語的コミュニケーション① 言語的コミュニケーション② 非言語的コミュニケーション 家庭訪問 電話相談	DVD	48

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	434	174	その他	相談援助 ～様々なニーズの解決ためのアプローチ 認知行動療法	問題を抱えた人への対処の方法や課題を解決するための方法である「相談援助」には、ポジティブな思考を基調とした様々な考え方や技法があります。DVDでは、いくつかのアプローチ法、療法を取り上げ、入門編としてドラマ形式のスタイルで紹介しています。 ①「認知」に焦点を当てたアプローチ ②「行動」に焦点を当てたアプローチ	DVD	50
人権センター	435	175	その他	相談援助 ～様々なニーズの解決ためのアプローチ 第2巻 ストレングスモデル	ストレングスモデルとは、クライアントの持っているストレングス・強みを活用し、エンパワーメントを引き出すことでクライアントの抱えている課題を解決に導き、性価値の質を高める援助技術です。 ここでは下の4つの要素に焦点を当てて、ドラマ形式で解説します。 1、性質・性格 2、才能・能力 3、環境(資源・社会関係・機会)	DVD	28
人権センター	436	176	その他	職場のコミュニケーションスキル 1 アンガーマネジメント 上手な怒りとの付き合い方	「怒り」は、人間関係をギクシャクさせたり、ストレスの原因になるなど厄介な感情です。「怒り」との付き合い方を身に着けることで、職場のコミュニケーションの改善を目指す教材です。 「怒り」は自分の大事なものが傷つけられているサイン 「怒り」の感情との付き合い方 大事なものを守る4つのステップ 自分の「怒り」のツボを知る 他	DVD	23
人権センター	437	177	その他	職場コミュニケーションスキル 2 アサーション 上手な気持ちの伝え方	お互いの気持ちや言いたいことを、相手を傷つけずに伝える相互尊重の方法であるアサーティブなコミュニケーションについて事例を交えて学ぶ教材です。 4つの自己表現タイプ アサーティブなコミュニケーション・スキル (傾聴力、質問力、DESC法) テレワークのコミュニケーション 他	DVD	25
人権センター	438	178	企業と人権	人種・多様性 アンコンシャス・バイアスをなくそう	無意識の偏見のない誰もが安心して働ける職場をめざして プロローグ コミュニケーションギャップ 職場環境に与える影響など	DVD	33
人権センター	439	179	企業と人権	ハラスメント パワハラのない風通しの良い職場環境をめざして	ハラスメントを生まない職場のコミュニケーション これってパワハラなの？ 職場のハラスメントとは／女性活躍・ハラスメント規制法 6つの類型とパワハラ判断基準 パワハラと受け取られない適切な指導方法 ハラスメントを生まない職場のコミュニケーション	DVD	34

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	440	180	企業と人権	マイクロアグレッション 言葉があるから	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとして役立ちます。	DVD	31
人権センター	441	181	企業と人権	公正な採用選考 ともに歩むために	ある企業の人事職員が採用選考において相次ぐ内定辞退に直面し、さらに就活情報サイトでの批判的な書き込みコメントをきっかけに、自身の会社できちんと公正な採用選考が行われていたのか、人権意識やCSR(企業の社会的責任ある活動)の観点で無意識のつまずきが無かったか、採用プロセスの検証と点検を行っていくことで、改めて公正な採用選考に向き合う物語。	DVD	28
人権センター	442	182	障がい者	知りたいあなたのこと3 きこえない人の生活・気持ち	1人の難聴の方を中心に、彼らがどんな場面で困っているのか?どんな配慮が求められているのか?私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。	DVD	21
人権センター	443	183	障がい者	あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障がい・生きづらさ～	主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生美織、祖母の介護をしている桃田、との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。カテゴリーで人を判断したりせず、一人ひとりが考えや感じ方も違う人間であることの大切さを学ぶことができます。	DVD	37
人権センター	444	184	子ども	考えよう!いじめ ～一人で悩まず相談しよう～	一見非があるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がいじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起します。また「晒」や「ステメいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。	DVD	23
人権センター	445	185	子ども	考えよう!いじめ ～一人で悩まず相談しよう～	このDVDは小学生編と中学生編、2つのストーリーがあります。現在では、小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使ったいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすためにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに、学んでいきます。	DVD	29
人権センター	446	186	子ども	考えよう!児童虐待	心理的虐待、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待、宗教活動に関する虐待等を事例紹介し、児童虐待の判断についても触れています。	DVD	33

機関名	番号	備品番号	人権課題	題名	内容	種別	時間(分)
人権センター	447	187	DV	考えよう！デートDV 良い恋愛関係って、どんな関係だろう？	「デートDV」に関する3つの事例紹介の後に、事例解説・ディスカッションがあります。	DVD	30
人権センター	448	188	LGBT	Ally teacher's tool kit いろいろな性ってなんだろう？	「あなたのままで大丈夫」そんなことを小学生の時、先生に教えてもらっていたら。そんな思いから、10代～20代の若者たちが、小学生だった頃を振り返りながらこの映像をつくりました。 1 いろいろな性ってなんだろう？ 2 じゅんさんの話 3 たけるさんの話 4 いろいろな性の人に会ってみよう 5 ちがいを大事にするための工夫	DVD	15
人権センター	449	189	LGBT	Ally teacher's tool kit いろいろな性ってなんだろう？	「あなたのままで大丈夫」そんなことを中学生の時、先生に教えてもらっていたら。そんな思いから、かつて中学生だった若者たちが、この映像をつくりました。 1 多様な性ってなんだろう？ 2 大学生・そうしのはなし 3 そうしと母のはなし 4 大学生・きょうへいのはなし 5 きょうへいと友達のはなし 6 多様性ってなんだろう？	DVD	15